

令和 3 年 度

# 主要施策の成果に関する調書

観光・文化スポーツ部



# 目 次

<b>2 地域を愛し世界に通用する人材の育成と文化・スポーツの振興</b> .....	1
(1) 文化の薫り高いふるさとかごしまの形成.....	1
① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実.....	1
② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用.....	5
③ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信.....	8
④ 文化芸術振興の推進体制の整備.....	9
(2) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興.....	10
① スポーツを通じた交流の推進等.....	10
<b>9 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現</b> .....	14
(1) 国内外における戦略的なPRの展開.....	14
① ICT等を活用したPRの展開.....	14
② オール鹿児島によるPRの展開.....	15
(2) 観光維新 鹿児島創造.....	16
① 魅力ある癒やしの観光地の形成.....	16
② 戦略的な誘客の展開.....	18
③ オール鹿児島でのおもてなしの推進.....	38
(3) 国際化と多文化共生の実現.....	40
① 交流会議等を核とした国際交流の充実.....	40
② 日本人と外国人が共生する地域づくり.....	46
<b>13 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策</b> .....	49
(1) 感染症拡大防止対策と医療体制整備.....	49
(2) 雇用の維持と事業の継続.....	52
(3) 子育て世帯などへの支援.....	54
(4) 経済活動の回復.....	55



## 2 地域を愛し世界に通用する人材の育成と文化・スポーツの振興

### (1) 文化の薫り高いふるさとかごしまの形成

#### ① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
文化推進費	50,297	37,864	—	12,433	17,631	9,274	—	8,357
内	青少年のための芸術鑑賞事業	2,514	—	2,514	2,508	—	—	2,508
	新たな日常での文化芸術活動支援事業	37,074	37,074	—	8,575	8,575	—	—
内	「県民の日7・14」記念事業	2,629	790	1,839	1,628	699	—	929
内	地域伝統芸能全国大会開催事業	8,080	—	8,080	4,920	—	—	4,920
文化施設費	545,089	1,300	491,096	52,693	542,796	1,300	490,122	51,374
内	文化施設活性化事業	384,560	1,300	356,096	384,556	1,300	356,122	27,134
内	文化施設整備事業	160,529	—	135,000	158,240	—	134,000	24,240
	計	595,386	39,164	491,096	560,427	10,574	490,122	59,731

新たな日常での文化芸術活動支援事業 翌年度への繰越額 25,179千円

#### (1) 青少年のための芸術鑑賞事業(文化振興課)

##### <1> 施策の目的

県内各地において、小・中学校及び特別支援学校の児童生徒等を対象に、優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に関する興味・関心を喚起するとともに、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

##### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

###### ア 内容

器楽、声楽、邦楽、バレエ、日本舞踊

###### イ 公演数及び鑑賞者数

年度	公演数	鑑賞者数
R1	9公演	2,510人
R2	4公演	576人
R3	9公演	1,863人

※ R2年度は、当初9公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、4公演に減少した。

##### <3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県内各地の児童生徒等に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

#### (2) 新たな日常での文化芸術活動支援事業(文化振興課)

##### <1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症により、文化芸術活動の中止・延期を余儀なくされていた県内の文化芸術団体等が、活動を再開及び継続できるよう、適切な新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施する文化芸術活動を支援する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 公演等開催支援

文化芸術活動のうち、集客を伴う活動（補助率：2分の1以内 上限500千円）

応募団体数	助成団体数	助成額
34件	30件	7,564千円

イ 映像配信支援

文化芸術活動のうち、無観客で実施する活動の映像作品を制作し、広く配信するもの。（補助率：2分の1以内 上限300千円）

応募団体数	助成団体数	助成額
4件	4件	1,011千円

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

文化芸術活動の発表の機会及び県民の鑑賞の機会が確保された。

(3) 「県民の日7・14」記念事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「県民の日（7月14日）」が、ふるさとを愛する心を育むとともに、県民一人ひとりが自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島島の未来について考える日となるよう、関連事業を実施する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

県民の日の認知度向上

ア 包括連携協定締結企業とのタイアップ

「県民の日」の認知度向上を図るため、包括連携協定企業と連携した周知・広報イベント等を実施

(ア) 期 日 令和3年7月10日（土）、11日（日）、14日（水）

(イ) 場 所 イオンモール鹿児島

(ウ) 内 容 アンケート・クイズの実施、ステージイベント等

(エ) 参加者数 アンケート 436人、ステージイベント 延べ570人

(オ) 啓発ポスターの作成・配布 約1,000か所配布

イ 県有施設の入館・入園料の無料化 (単位：人)

施設名	入場者数
歴史・美術センター黎明館	237
霧島アートの森	99
奄美パーク	110
屋久島環境文化村センター	26
フラワーパークかごしま	137
県立博物館プラネタリウム	48
上野原縄文の森	142
合 計	799

ウ 市町村、民間文化施設の取組

16市町村及び民間の5文化施設において、入館料等の無料化やイベント等が実施された。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県内の小・中・高校等の児童・生徒及び多くの県民への周知が図られた。

(4) 地域伝統芸能全国大会開催事業（文化振興課）

〈1〉 施策の目的

第29回地域伝統芸能全国大会を開催する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

大会概要 (中止)

ア 期 日 令和3年10月9日(土)・10日(日)

イ 会 場

メイン会場	西原商会アリーナ(鹿児島市)
サブ会場	永吉中央公園(鹿児島市)
サテライト会場	霧島市民会館(霧島市)

※サテライト会場は、10月10日のみ。

ウ 内 容 開催記念式典や表彰式、地域伝統芸能公演等

エ 出演団体数 表彰団体など県内外の35団体

オ 主 催 者 第29回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会かごしま・きりしま」  
実行委員会((一財)地域伝統芸能活用センター、県、鹿児島市、霧島市 等)

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

令和3年10月に開催予定であった、第29回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会かごしま・きりしま」については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、9月10日に臨時の実行委員会を開催し、大会の中止を決定した。

(5) 文化施設活性化事業(文化振興課) (一部地方創生関連事業)

〈1〉 施策の目的

文化センター、みやまコンセル、霧島アートの森の3施設について、効率的で円滑な管理・運営を図るとともに、文化拠点施設としての機能活性化を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

文化センター活性化事業、みやまコンセル活性化事業、霧島アートの森活性化事業

文化センター、みやまコンセル、霧島アートの森の各施設について、指定管理者である公益財団法人鹿児島県文化振興財団において、施設・設備等の維持管理、文化事業の企画及び実施、施設の利用許可・利用料金の徴収に係る業務を行った。

[文化センター]

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第42回霧島国際音楽祭「宝山ホール祭り」</li> <li>・第42回霧島国際音楽祭キリシマ祝管弦楽団公演</li> <li>・鹿児島県文化センター開館55周年記念 宝塚歌劇宙組全国ツアー公演</li> <li>・第38回鹿児島新人演奏会 など</li> </ul> ※一部公演等については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止	7	9,272人
文化芸術活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第70回鹿児島県高等学校音楽祭</li> <li>・鹿児島交響楽団第95回定期演奏会</li> <li>・若葉Festival</li> <li>・キャラバン・コンサート など</li> </ul> ※一部公演等については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止	15	9,572人
文化芸術に関する情報収集・提供事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財団情報誌「憩」の作成・配布</li> <li>・ボランティアスタッフによる広報活動 など</li> </ul>	3	—

[みやまコンセール]

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	・第12回みやまスペシャル・コンサート ・野外音楽フェス～みやまの森の響き～ など	5	6,977人
文化芸術鑑賞事業	・第89回日本音楽コンクール受賞記念演奏会 ・みやまふれあいコンサート ・ジャン・チャクムル ピアノリサイタル など ※一部公演等については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止	11	1,450人
霧島国際音楽祭運営事業	・第42回霧島国際音楽祭 令和3年7月15日～8月1日 みやまコンセールを中心に、国内の著名な音楽家や多数の受講生を招き演奏会と講習会を開催し、本県の音楽文化振興と若手演奏家の育成を図った。	—	9,452人
	・霧島国際音楽祭受講生受入事業 国際交流を目的に外国から受講生を受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止	—	—
文化芸術活動支援・助成事業	・おとどけコンサート・さてらいとコンサート ・みやま音楽アカデミーⅠ～Ⅱ など	12	10,146人

[霧島アートの森]

区 分	内 容	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	・特別企画展 岡本 仁展 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、会期10日間の短縮 ・霧島アートの日 11月3日 など	7,293人
文化芸術鑑賞事業	・野外常設展(通年) ・屋内コレクション展 令和3年4月13日～令和3年7月2日 アートホールの屋根改修工事のため、令和3年9月14日から令和4年3月31日まで屋内展示を休止 ・園内ツアー	48,057人
情報収集提供事業	関係機関と連携した施設のPRや利用促進のための取組	—

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

各施設の適切な維持管理が行われたほか、各種文化事業を通じて県内外の方々に文化芸術に触れ親しむ機会を提供することができた。

(6) 文化施設整備事業(文化振興課)

<1> 施策の目的

文化センター、みやまコンセール及び霧島アートの森の機能の維持・充実を図るため、施設・設備等の補修等を行う。また、霧島国際音楽祭の魅力向上と集客促進を図るため、みやまコンセールへのパイプオルガンの整備に向けた調査等を実施する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

施設機能の維持・充実を図るため、霧島アートの森の屋根改修工事等を行った。また、パイプオルガンの設置に向け、建物の構造安全性の確認を実施した。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県民の文化芸術活動の拠点施設としての機能の維持・充実が図られた。また、みやまコンセールへのパイプオルガン設置に係る構造上の安全性の確認ができた。

② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	13,626	6,793	—	6,833	13,471	6,728	—	6,743
内 訳								
ユニークベニユール活用 促進事業	13,626	6,793	—	6,833	13,471	6,728	—	6,743
黎 明 館 費	107,375	9,991	21,146	76,238	104,751	9,904	21,265	73,582
内 訳								
黎明館常設展示運営 事業	18,549	—	247	18,302	18,497	—	181	18,316
黎明館企画展示事業	12,759	—	1,577	11,182	12,626	—	1,733	10,893
黎明館資料収集整備 事業	2,046	—	—	2,046	1,902	—	—	1,902
県史料編さん事業	19,086	—	12,000	7,086	17,786	—	12,029	5,757
鶴丸城跡保全整備事業	39,344	6,675	—	32,669	38,467	6,627	—	31,840
鶴丸城跡保全整備事業 (繰越)	7,298	—	7,298	—	7,298	—	7,298	—
内 訳								
鶴丸城跡「にぎわい」 創出事業	8,293	3,316	24	4,953	8,175	3,277	24	4,874
計	121,001	16,784	21,146	83,071	118,222	16,632	21,265	80,325

(1) ユニークベニユール活用促進事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

県内の歴史・文化施設等をイベント会場等として活用し、その価値や魅力を広く発信することにより、県民の文化芸術に関する関心を高めるとともに交流人口の拡大を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア ユニークベニユールを活用したイベント等の開催支援

歴史的建造物での大衆芸能や霧島アートの森での即興パフォーマンス等の開催を支援した。

支援団体数：10団体

イ 事例集の作成

本事業の補助対象をモデル事例として活動内容や配慮事項等を広く紹介し、今後の普及拡大につなげるため、事例集を作成した。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県内の歴史・文化施設等の活用や県民の文化芸術に関する関心の向上、交流人口の拡大が図られた。

(2) 黎明館常設展示運営事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

〈1〉 施策の目的

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心を深めるため、鹿児島島の過去から現在までの姿を各種資料等で紹介する常設展示室の運営や企画展示等を行う。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 常設展示室開館

年度	開館日数	観覧者数
R1	306日	45,568人
R2	286日	24,978人
R3	269日	30,943人

※R2, R3は新型コロナウイルス感染症の影響で観覧者数が減

イ 企画展示開催

展 示 名	期 間	観覧者数
南北朝の動乱と南九州の武士たち	令和3年5月26日～8月19日	4,975人
前田正名 －「布衣の農相」と呼ばれた男－	令和3年10月1日～12月12日	5,449人
玉里島津家資料展創設150年記念	令和3年12月21日～令和4年3月6日	3,404人
顔と面 －その姿と想い－	令和4年3月15日～5月22日	※4,754人

※令和3年度中は1,193人

ウ 体験学習講座

3回開催，受講者数79人

<3> 施策の実施による成果(アトカ)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(3) 黎明館企画展示事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

<1> 施策の目的

黎明館の自主企画による企画特別展等を行うことにより，本県の歴史や文化遺産等に対する県民の理解と関心を深める。

<2> 施策の実施状況(アトフット)

- ア 黎明館講演会 3回開催，入場者数140人
- イ ふるさと歴史講座 1回開催，受講者数 83人
- ウ 古文書講座 8回開催，受講者数 27人（延べ200人）
- エ 学芸講座 12回開催，受講者数513人

<3> 施策の実施による成果(アトカ)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(4) 黎明館資料収集整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

<1> 施策の目的

本県関係の歴史資料を調査・収集の上，整理・保存するとともに専門的・学術的な調査・研究を行う。

<2> 施策の実施状況(アトフット)

- 令和3年度収集資料 335点
- 令和3年度末累計 182,056点
- 「黎明館調査研究報告第34集」を刊行した。

<3> 施策の実施による成果(アトカ)

本県関係の歴史資料の収集や保存，専門的・学術的な調査・研究が図られた。

(5) 県史料編さん事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

<1> 施策の目的

本県の史料を編さんし，本県歴史の学術的研究と教育・文化活動の発展に寄与する。

<2> 施策の実施状況(アトフット)

「旧記雑録拾遺神社調一」，「市来四郎史料二」を刊行した。

<3> 施策の実施による成果(アトカ)

本県の基礎史料の整備が図られた。

(6) 鶴丸城跡保全整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

県指定史跡である鶴丸城跡の石垣について、部分的な孕み出しや隙間が見られることから、石垣修復に向けた取組を行うとともに、鶴丸城跡の文化財的価値や魅力を高めるため、国の史跡指定を目指す。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

鶴丸城跡の石垣の修復に向けた石垣の現況調査を実施したほか、「鶴丸城跡」の文化財的価値や魅力を高めるため、専門家からの指導・助言を得ながら国の史跡指定に向けた取組を進めた。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県指定史跡である鶴丸城跡の保全が図られた。

(7) 鶴丸城跡保全整備事業（繰越）（文化振興課（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

県指定史跡である鶴丸城跡の石垣について、部分的な孕み出しや隙間が見られることから、石垣修復に向けた取組を行うとともに、鶴丸城跡の文化財的価値や魅力を高めるため、国の史跡指定を目指す。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

令和2年度までに実施した鶴丸城跡の北御門周辺部石垣修復工事の際に設置した仮設橋の撤去等を行った。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

県指定史跡である鶴丸城跡の保全が図られた。

(8) 鶴丸城跡「にぎわい」創出事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

鹿児島県の新しいシンボルとなり、新たな観光拠点として活用されることが期待される鶴丸城御楼門の復元を契機に、御楼門及び県指定史跡「鶴丸城跡」の魅力を発信し、にぎわいを創出することにより、歴史・文化ゾーンの回遊性向上や交流人口の拡大等を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

パンフレット、陣幕等の作成

鶴丸城跡（御楼門、石垣）ライトアップ点灯式（R3.4.11）の開催

鶴丸城跡ふれあいフェスタなど鶴丸城跡にぎわい創出イベント（R3.7～R4.2）の開催

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

御楼門や鶴丸城跡の魅力発信が図られた。

③ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源
文 化 施 設 費	40,549	1,300	33,000	6,249	40,549	1,300	33,000	6,249
内 文化施設活性化事業 (霧島国際音楽祭運営事 業)(一部再掲)	40,549	1,300	33,000	6,249	40,549	1,300	33,000	6,249
計	40,549	1,300	33,000	6,249	40,549	1,300	33,000	6,249

(1) 文化施設活性化事業（霧島国際音楽祭運営事業）（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉 （一部再掲）

2 (1) ①(5)において前述

④ 文化芸術振興の推進体制の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	5,819	—	—	5,819	4,580	—	—	4,580
内 訳 文化行政推進体制整備 事業	5,819	—	—	5,819	4,580	—	—	4,580

(1) 文化行政推進体制整備事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

芸術文化奨励賞授与や文化芸術振興審議会の開催，文化振興指導員の設置等により本県文化の振興を図る。

＜2＞ 施策の実施状況(アトプット)

ア 芸術文化奨励賞

- ・授賞式：令和3年11月25日
- ・受賞者：個人の部 美術部門 小牟禮雄一氏  
美術部門 美坂康太郎氏  
音楽部門 中村瑞希氏

イ 文化芸術振興審議会

- ・期 日：令和3年10月28日
- ・会 場：鹿児島県青少年会館1F 大ホール
- ・出席委員：13人/17人中
- ・議 題：会長及び副会長の選任について  
令和3年度県文化芸術推進基本計画に基づく施策について

ウ 文化振興推進員

- ・設置人数：1人
- ・業務内容：県文化協会及び文化団体等への指導・助言等
- ・任 期：令和3年4月1日～令和4年3月31日

＜3＞ 施策の実施による成果(アトカム)

文化芸術振興審議会の開催や文化振興推進員の設置を通じて，本県文化行政の推進を図ることができた。

(2) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興

① スポーツを通じた交流の推進等

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
企 画 総 務 費	5,822	—	626	5,196	5,817	—	623	5,194
内 訳								
東京2020オリンピック 聖火リレー実施事業	895	—	626	269	891	—	623	268
東京2020パラリンピック 聖火フェスティバル 実施事業	4,927	—	—	4,927	4,926	—	—	4,926
観 光 費	50,188	30,905	—	19,283	47,131	29,737	—	17,394
内 訳								
県民総ぐるみ・鹿児島 ユナイテッドFC支援 事業	37,500	23,750	—	13,750	37,500	23,750	—	13,750
「鹿児島レブナイズ」 活動強化支援事業	5,290	3,940	—	1,350	5,290	3,940	—	1,350
スポーツツーリズム実 践事業（カウント・ゴルフ 大会開催事業）	172	—	—	172	171	—	—	171
内 訳								
スポーツかごしま推進 事業	7,226	3,215	—	4,011	4,170	2,047	—	2,123
体 育 施 設 費	74,235	—	30,000	44,235	74,235	—	30,000	44,235
内 訳								
県体育施設等管理運営 事業	74,235	—	30,000	44,235	74,235	—	30,000	44,235
計	130,245	30,905	30,626	68,714	127,183	29,737	30,623	66,823

(1) 東京2020オリンピック聖火リレー実施事業（スポーツ振興課）

<1> 施策の目的

県民が東京2020オリンピックに触れる機会を創出し、県民のオリンピック・スポーツへの関心を高めるため、東京2020組織委員会と連携して聖火リレーの運営等を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 聖火リレーの実施

(ア) 実施期間

令和3年4月27日(火)～4月28日(水) 2日間

(イ) 走行市町 14市町

・リレー1日目

ルート：志布志市→鹿屋市→奄美市→南大隅町→霧島市→始良市→鹿児島市

出発式（場所：志布志市観光船バース 入場者数：106人）

ミニセレブレーション（場所：南大隅町佐多岬展望台）

セレブレーション（場所：鹿児島市ウォーターフロントパーク 入場者数：420人）

・リレー2日目

ルート：出水市→西之表市→薩摩川内市→日置市→伊佐市→南九州市→指宿市

出発式（場所：出水市文化会館駐車場 入場者数：120人）

ミニセレブレーション（場所：伊佐市曾木の滝公園）

セレブレーション（場所：指宿市陸上競技場 入場者数：367人）

(ウ) 走行区間 184区間

(エ) 聖火ランナー 192人

(オ) サポートランナー 158人

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

東京2020オリンピックの開催に向けて県民の機運が醸成された。

(2) 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル実施事業（スポーツ振興課）

<1> 施策の目的

県民が東京2020パラリンピックに触れる機会を創出し、県民のパラリンピック・障害者スポーツへの関心を高めるため、本県でのパラリンピック聖火フェスティバルを実施する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 聖火リレートーチの展示

(ア) 期日：令和3年7月5日(月)～12月28日(火)

(イ) 場所：県庁行政庁舎

イ 東京パラリンピック聖火フェスティバルの実施

(ア) 採火式 令和3年8月12日(木)（県庁2階県民ホール）

種子島火縄銃保存会の会員が、火打ち石で「東京2020パラリンピック聖火」を採火した。

(イ) 聖火ビジット 令和3年8月12日(木)～8月16日(月)

県職員が県内の15の大規模障害者入所施設等を訪問し、聖火リレー用のランタンの展示を行った。また、県内の24市町村が、それぞれ独自の工夫を凝らして聖火の展示を行った。

(ウ) 出立式 令和3年8月16日(月)（県庁2階県民ホール）

パラリンピックの開催都市東京に「東京2020パラリンピック聖火（鹿児島県）」を送り出す出立セレモニーを行った。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

東京2020パラリンピックの開催に向けて県民の機運が醸成されるとともに、県民のパラリンピック・障害者スポーツへの関心が高まった。

(3) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

「鹿児島ユナイテッドFC」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 「鹿児島をもっとひとつに。」プロジェクト実行委員会に対する負担金の支出

イ 鹿児島ユナイテッドFCに対する広告料の支出

ウ その他側面的な支援

- ・市町村広報誌や県広報誌を活用したホーム戦日程等の広報
- ・県庁舎等でのチラシ・ポスターの配布
- ・県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）
- ・県庁1階の生協売店でクラブのグッズ販売キャンペーンの実施

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

2021シーズン（R3.3月～R3.12月）の年間総入場者数が52,326人（前年比14,691人増、39%増）と増加した。

(4) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

「鹿児島レブナイズ」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 鹿児島レブナイズ地域活性化実行委員会に対する負担金の拠出

イ 鹿児島レブナイズに対する広告料の支出

ウ その他側面的な支援

- ・市町村広報誌や県広報誌を活用したホーム戦日程等の広報
- ・県庁舎等でのチラシ・ポスターの配布
- ・県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）

・県庁1階の生協売店でクラブのグッズ販売キャンペーンの実施

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

2021-22シーズン(R3.10月~R4.5月)は、年間総入場者数が13,460人(前年比4,022人増、43%増)と増加した。

(5) スポーツツーリズム実践事業(グラウンド・ゴルフ大会開催事業)(スポーツ振興課)

<1> 施策の目的

グラウンド・ゴルフ大会の開催を通じて、スポーツの振興、高齢者の健康増進及び交流人口の拡大・地域活性化を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

「第2回鹿児島県知事杯グラウンド・ゴルフ大会」を開催(R3年10月17日)することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大会を中止した。

(6) スポーツかごしま推進事業(スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

かごしまのスポーツ資源などを活用して、スポーツに親しむ機会を創出し、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア スポーツイベント等を開催する団体に対する助成

地域資源との相乗効果による持続可能な交流人口の拡大に資する継続的なスポーツイベント等の開催に要する経費の一部を助成

補助団体数	補助額
8件	4,094千円

イ かごしまトップスポーツクラブの認定

スポーツクラブのステータスやモチベーションの向上をはじめ、クラブの体制強化・育成を図るため、これまで鹿児島のスポーツを盛り上げてきたスポーツクラブ(6団体)を認定

ウ かごしまスポーツ応援団体の募集開始(令和4年3月15日~)

スポーツ振興の取組を積極的に応援する県内の企業等を「かごしまスポーツ応援団体」として認定し、本県スポーツを支える重要な資源として、その取組等を県民に周知することにより、企業等がスポーツを応援する機運を醸成し、本県のスポーツ振興を図る。

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

民間団体等が本県で新たに開催するスポーツイベント等の開催を支援したほか、かごしまトップスポーツクラブの認定やかごしまスポーツ応援団体の募集を行い、スポーツを核とした交流人口の拡大や地域活性化を図った。

(7) 県体育施設等管理運営事業(スポーツ振興課)

<1> 施策の目的

県民一人ひとりが身近なところでスポーツに親しみ、気軽に参加できるよう、スポーツを楽しむ環境を整備するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の定着、競技力向上を図るため、施設の管理運営を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 事業内容

県立サッカー・ラグビー場の管理運営

イ 指定管理者

(ア) 名称 株式会社セイカスポーツセンター

(イ) 期間 平成31年4月1日~令和6年3月31日(5年間)

<3> 施策の成果(アウトカム)

天然芝2面、人工芝1面を有し、県内トップレベルのサッカー・ラグビー場として県内外から大会や合宿に利用さ

れている。

また、質の高い天然芝を有することやクラブハウスがグラウンドに隣接していることから、鹿児島ユナイテッドFCが定期的に練習場として利用していた。(同クラブの専用練習場が喜入に整備される前の令和3年9月まで)

・利用人数については、112,274人(前年度比 18,482人増、20%増)と増加した。

## 9 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現

### (1) 国内外における戦略的なPRの展開

#### ① ICT等を活用したPRの展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
中小企業振興費	20,000	20,000	—	—	16,919	16,919	—	—
内訳 KAGOSHIMAイメージアップ事業	20,000	20,000	—	—	16,919	16,919	—	—
計	20,000	20,000	—	—	16,919	16,919	—	—

(1) KAGOSHIMAイメージアップ事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

#### <1> 施策の目的

「新鹿児島PR戦略」に基づき、民間企業等と連携したプロモーションの展開や新PR動画を活用した情報発信を行い、国内外へ本県の多彩な魅力を発信する。

#### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

##### ア 「Breathtaking Kagoshima～心奪われる鹿児島フェア～」の開催

首都圏における本県の更なるイメージアップを図るため、令和3年7月に世界自然遺産に登録された「奄美大島・徳之島」や「食」など本県の魅力を発信するプロモーションを実施する。

##### (ア) PR動画放映

- ・ 期間：令和4年2月21日(月)～27日(日)
- ・ 場所：渋谷駅ハチ公口近くQ'S EYEビジョン  
渋谷ヒカリエ改札前サイネージ
- ・ 内容：「奄美大島・徳之島」、「離島」、「食」などをPRする動画を放映

##### (イ) レストランフェアの開催

- ・ 期日：令和4年2月18日(金)～3月31日(木)
- ・ 場所：セルリアンタワー東急ホテルなど4ホテル
- ・ 内容：県産食材を使用したレストランフェアを開催

##### (ウ) 量販店フェアの開催

- ・ 期日：令和4年2月25日(金)～27日(日)
- ・ 場所：東急ストア・プレッセ12店舗
- ・ 内容：県産品を販売する「鹿児島フェア」を開催

##### イ 新PR動画を活用した情報発信

令和3年4月30日に公開した新PR動画「Breathtaking Kagoshima～心奪われる鹿児島～」の視聴機会を増やし、より多くの方々に視聴していただくことを目的に、SNS広告の配信や中国インフルエンサーを活用した情報発信を行い、国内外での本県の認知度向上及びイメージアップを図る。

##### ウ SNSを活用した海外向け情報発信

鹿児島県民の個人ストーリーを通じて本県の多彩な魅力を英語で紹介する動画を作成し、本県の多様な魅力を国内外へ広く発信した。

- ・ アカウント名：People of Kagoshima
- ・ 開設日：令和3年8月3日
- ・ 発信媒体：Youtube, facebook, Instagram
- ・ 投稿頻度：2回/月

#### <3> 施策実施による成果(アウトカム)

PR動画を活用したプロモーションの実施やSNS等を活用した積極的な情報発信を行ったことにより、本県の多彩な魅力を国内外に広く発信することができ、更なるイメージアップや認知度向上が図られた。

②オール鹿児島によるPRの展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
中 小 企 業 振 興 費	210	59	—	151	118	59	—	59
内 訳 薩長土肥連携事業	210	59	—	151	118	59	—	59
計	210	59	—	151	118	59	—	59

(1) 薩長土肥連携事業（文化振興課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

明治維新150周年を記念して、平成30年度に鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の4県が締結した「薩長土肥同盟」に基づき、これまでの関係性を更に継続・発展させるため、明治維新200年に向け、4県において、各県の歴史・文化など魅力ある地域資源を活かし、地域の活性化を推進する取組を連携して展開する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度薩長土肥連携青少年交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止

ア 薩長土肥同盟推進協議会会議（書面開催）全4回

- ・実施日：令和3年8月26日，令和3年11月12日，令和4年3月2日，令和4年3月10日
- ・参加者：協議会委員（4県担当課長）
- ・内 容：次年度事業予算の検討 ほか

イ 担当者意見交換会（第2回以外はオンライン開催）全4回

- ・実施日：令和3年4月26日，令和3年10月25日，令和3年12月22日，令和4年2月10日
- ・参加者：協議会委員（4県担当者）ほか
- ・内 容：次年度事業計画の検討，開催可否について ほか

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

薩長土肥連携青少年交流事業の次年度開催に向けた、薩長土肥同盟推進協議会会議や担当者オンライン意見交換会などを実施し、4県の連携を図ることができた。

## (2) 観光維新 鹿児島県の創造

### ① 魅力ある癒やしの観光地の形成

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
観光費	1,712,394	166,785	1,429,525	116,084	1,167,028	90,632	1,010,533	65,863
内 魅力ある観光地づくり事業	1,491,095	56,136	1,319,000	115,959	1,055,962	35,099	955,000	65,863
訳 奄美パーク改修等事業	221,299	110,649	110,525	125	111,066	55,533	55,533	—
計	1,712,394	166,785	1,429,525	116,084	1,167,028	90,632	1,010,533	65,863

魅力ある観光地づくり事業 翌年度への繰越額 435,052千円

奄美パーク改修等事業 翌年度への繰越額 92,660千円

#### (1) 魅力ある観光地づくり事業（PR観光課）

##### <1> 施策の目的

本県を訪れる観光客の受入体制の充実を図るため、地域素材を生かしたにぎわい空間や体験空間の創出、沿道修景などの景観整備やわかりやすい案内標識の整備を行い「魅力ある観光地づくり」を推進する。

##### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

##### ア にぎわい回廊整備

地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源を活かしたにぎわいや憩いの空間の創出・沿道修景等の整備を行った。

##### (にぎわい回廊整備状況)

地域名	整備箇所
鹿児島	鶴丸城跡修景整備（鹿児島市）
	市来観音ヶ池周辺景観整備（いちき串木野市）
南薩	内山田七不思議巡り整備（南さつま市）
	池田湖周辺景観整備（指宿市）
北薩	出水戦跡巡り周辺整備（出水市）
	長島サンセットロード景観整備（長島町）
	阿久根北部観光拠点整備（阿久根市）
	鶴北帰行展望園地整備（長島町）
始良・伊佐	日当山温泉郷まち歩き拠点整備（霧島市）
	肥薩線沿線周遊観光ルート整備（霧島市）
	重富まち歩き拠点整備（始良市）
	曾木の滝周遊景観整備（伊佐市）
	八幡大地獄散策路整備（湧水町）
大隅	大隅歴史散策拠点整備（肝付町）
	雄川の滝周辺景観整備（南大隅町）
熊毛	種子島北部観光拠点整備（西之表市）
	屋久島沿道景観整備（屋久島町）
大島	奄美歴史浪漫探訪整備（龍郷町、大和村、瀬戸内町）
	敬天愛人発祥の地周辺整備（和泊町）
	与論島散策拠点整備（与論町）
	喜界島観光拠点整備（喜界町）
	奄美トレイル観光環境整備（宇検村・喜界町・伊仙町）

イ 観光案内標識（サイン）整備

全ての観光客がストレス無く快適に観光を満喫できるよう、外国語併記の観光案内標識等の整備を行った。

（案内標識設置状況）

（単位：基）

種 別	～H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
観光案内板	36	—	—	—	—	—	—	—	1	37
観光案内標識 （かごしまroman街道）	821	52	34	39	9	—	4	5	11	975
道路案内標識	996	3	7	6	2	10	9	5	—	1,038
合計	1,853	55	41	45	11	10	13	10	12	2,050

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

ア にぎわい回廊整備

県内各地において、広域観光ルートの拠点となる「魅力ある癒やしの観光地」の形成が図られ、本県を訪れる観光客の満足度と回遊性が高まった。

イ 観光案内標識（サイン）整備

外国語併記の観光案内標識等の整備、充実により、観光客の県内観光地への適確な誘導・案内が図られた。

(2) 奄美パーク改修等事業（PR観光課）

〈1〉 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を踏まえ、施設の長寿命化を図るとともに、世界遺産の情報発信拠点としてふさわしい施設となるよう改修を実施する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

施設機能の維持・充実を図るため、奄美の郷の外構（屋根）及び設備改修を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

奄美群島の自然や生活文化を学ぶ場として、より一層の受入体制の強化及び機能充実が図られた。

② 戦略的な誘客の展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
企 画 総 務 費	12,762	4,520	—	8,242	11,456	4,335	—	7,121
内 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業	12,762	4,520	—	8,242	11,456	4,335	—	7,121
観 光 費	465,816	214,662	42,166	208,988	453,672	207,581	42,557	203,534
内 観光かごしま大キャンペーン推進事業	75,000	37,500	—	37,500	75,000	37,500	—	37,500
国内誘客プロモーション事業	48,181	48,181	—	—	47,469	47,469	—	—
2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業	11,101	11,101	—	—	5,984	5,984	—	—
フィルムコミッション活動支援事業	8,739	4,369	21	4,349	8,739	4,369	21	4,349
観光サイトシステム改修事業	24,239	24,239	—	—	24,238	24,238	—	—
南九州観光振興事業	2,000	—	—	2,000	2,000	—	—	2,000
海外誘客ステップアップ事業	88,006	39,567	40,193	8,246	87,078	39,567	40,193	7,318
国際クルーズ船誘致促進事業	14,406	7,028	55	7,323	14,094	6,978	55	7,061
東京オリパラ特別プロモーション事業	393	196	—	197	392	196	—	196
「稼げる」観光地域づくり推進事業	12,503	—	1,897	10,606	12,114	—	2,288	9,826
サイクルツーリズム推進事業	11,911	5,542	—	6,369	11,502	5,439	—	6,063
磯新駅設置支援事業	3,760	—	—	3,760	3,760	—	—	3,760
スポーツ観光王国かごしま確立事業	11,821	1,986	—	9,835	8,795	1,443	—	7,352
東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿誘致事業	12,862	6,284	—	6,578	11,764	5,880	—	5,884
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業	98,104	979	—	97,125	97,953	828	—	97,125
県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業(再掲)	37,500	23,750	—	13,750	37,500	23,750	—	13,750
「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業(再掲)	5,290	3,940	—	1,350	5,290	3,940	—	1,350
計	478,578	219,182	42,166	217,230	465,128	211,916	42,557	210,655

2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業 翌年度への繰越額 4,761千円

【参考】①目標値

区 分	基準年 (H30年)	目 標 (R6年)	現 状 (R3年)
項 目			
(1) 宿泊者数を増やす <sup>(注1)</sup>			
① 延べ宿泊者数	約8,864千人泊	9,900千人泊	4,926千人泊
② ①のうち、 外国人延べ宿泊者数	約831千人泊	1,500千人泊	16千人泊
(2) 観光客の満足度を高め、リピーターを増やす			
	(H30年度)	(R6年度)	(R3年度)
観光客の満足度	約76%	100%	約90%

②本県観光客の推移

(単位：人泊)

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
延べ宿泊者数	7,986,670	8,864,320	8,366,340	5,126,520	4,925,760

※出典：観光庁「宿泊旅行統計」

※対象施設：全てのホテル・旅館・簡易宿泊所

(注1)観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(暦年)の集計結果を目標の指標として設定

(1)「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(文化振興課 世界文化遺産室) (地方創生関連事業)

〈1〉施策の目的

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の管理保全、メディア向けプロモーション、シンポジウムの開催など県内構成資産を次の世代へ引き継ぐという県民意識を醸成するための普及啓発、情報発信に取り組む。

〈2〉施策の実施状況(アウトプット)

ア 県の取組

(ア) 管理保全

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウムの開催

日程	場所	内容	参加者
令和4年2月26日	南日本新聞社みなみホール	「ここがすごい！五代友厚と異人館」 ・基調講演 ・パネルディスカッション	276人

(イ) 普及啓発、理解増進・情報発信

a 教育連携

(a) 副読本「かごしまタイムトラベル」の改訂増刷・配布

集成館事業を中心に日本の近代化に鹿児島が果たした役割及びその関連資産等をわかりやすく説明した副読本「かごしまタイムトラベル」を改訂増刷・配布し、学校等における活用の促進を図った。

増刷部数	配布先	活用等	規格等
19,500部	県内の小学5年生全員、 県・市町村教育委員会	・学校現場での活用 ・各種講義等での活用	A4・24頁

b 県内波及への取組等

「明治日本の産業革命遺産」及び県内構成資産への興味・関心を喚起させるとともに、世界文化遺産としての価値について理解を深めてもらい、次世代へ継承していくという県民意識の醸成を図るため、県内全域を対象とした普及啓発に取り組んだ。

事業名	事業内容	場所等	参加者
かごしま産業遺産の道事業	県内の集成館事業に関連する産業遺産を紹介する「かごしま産業遺産の道」ホームページの県観光サイトにおける運用	鹿児島県観光サイト 「かごしまの旅」に公開	—
近代化産業遺産普及・啓発事業	1 児童・生徒向けの出前講座 (1) 日程 令和3年11月26日、令和4年2月22日 (2) 内容 「かごしまタイムトラベル」等を活用した「明治日本の産業革命遺産」の概要説明	南さつま市立加世田小学校 奄美市立金久中学校 奄美市立名瀬小学校	98人 104人 52人
	2 一般県民向けまち歩き (1) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」疎水溝を訪ねて ① 日程 令和4年3月22日 ② 内容 取水口付近の散策と磯地区まで伸びて	関吉の疎水溝等	18人

	いた「落とし」を訪ねる		
3	ガイド研修会 (1) P R 観光スタッフ研修 ① 日 程 令和3年10月25日 ② 内 容 受講者へ県内構成資産の情報提供 (2) タクシー乗務員研修（新型コロナウイルス感染症 対策で中止） ① 内 容 受講予定者へ県内構成資産の情報提供		

c 観光連携

(a) メディアを活用したプロモーション

新たに県内構成資産のポスターを制作し、九州の新幹線駅等を中心にビジョン広告やポスター掲出を行い県内構成資産の認知度向上を図った。

媒体	場所	期間
ポスターの掲出	博多, 新玉名, 熊本, 新八代, 新水俣, 出水, 川内, 鹿児島中央, 長崎, 浦上, 諫早	令和4年2月28日～3月27日
大型ビジョン広告	J R 博多シティビジョン, J R おおいたシティ大型ビジョン, 鹿児島AMUVISION, 宮崎AMUVISION	令和4年3月1日～3月31日
マルチビジョン広告	J R 博多駅中央改札口正面マルチビジョン	令和4年3月14日～3月27日

(b) 広告掲載

媒体	配布先	掲載号	内容
リビングかごしま リビングきりしま	鹿児島市, 始良, 北薩, 国分, 隼人, 加治木 エリアの世帯	令和3年12月18日	「明治日本の産業革命遺産」ライトヘリテージクリスマス
		12月25日	
		令和4年1月22日	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウム
		2月5日	
令和4年3月5日	「かごしま産業遺産の道」及び学習支援動画P R		
3月12日 4月2日			

d 県内構成資産紹介パンフレットの作成

「明治日本の産業革命遺産」の県内の構成資産について、県内外での認知度向上及び理解増進を図るため、パンフレット（英語版）を作成した。

名称	作成部数	規格等
明治日本の産業革命遺産 「産業国家」日本の原点 鹿児島	2,000部	A 4・16頁

e 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」資格認定・登録

県内構成資産を英語でわかりやすく説明するため創設した「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」制度の運用を令和元年度から開始したことに伴い、令和元、3年度の鹿児島大学大学院における講義を受講し、単位取得した者に対し、資格認定・登録を行った。（令和2年度の育成研修は、新型コロナウイルス感染症の県内発生状況等を鑑み中止）

育成研修名：鹿児島大学大学院（人文社会科学科博士前期課程）総合講義「鹿児島県における世界文化遺産」

研修実施日：令和3年12月4日, 5日, 11日

研修修了者：8人

認定・登録者：19人（3月31日現在）

イ その他の取組

- (ア) 関係部局等との連携  
民間企業に対する映像の提供やPRグッズの貸出等
- ウ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組
- (イ) 世界遺産委員会決議（勧告事項）への対応  
令和3年7月に開催された第44回世界遺産委員会において令和2年11月30日付で提出した保全状況報告書が審議され、さらなる要請がなされた。

[取組内容]

- ・協議会構成自治体に対し、世界遺産委員会の開催情報や決議案、決議文の日本語訳を共有

- (イ) ユネスコ世界遺産センターへの定期報告

世界遺産は世界遺産条約に基づきおおむね6年に1度、遺産価値の維持状況の評価等についてユネスコへの定期報告が義務付けられている。

[取組内容]

- ・内閣官房や関係団体等と連携を図りながら、回答の最終調整を行い、昨夏ユネスコ世界遺産センターへ提出した。

- (ウ) インタープリテーション（理解増進・情報発信）の推進

項目	取組内容
8県11市23資産の遺産群の理解増進及び情報発信への取組	① 構成資産等クリスマスライトアップ事業 ② パネル展 ③ ホームページ更新

- (エ) 人材育成

遺産群全体のストーリーを説明できる人材の育成のための取組	ガイド研修会の開催 日 程：令和4年1月24日（新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催） 対象者：各地域のガイド，自治体職員等（68人） 内 容：世界遺産価値の説明，世界遺産ガイドによる先進事例発表
世界遺産としての管理保全に関わる関係者の能力向上のための取組	管理保全研修会の開催 日 程：①令和3年5月20日（新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催），②令和4年1月12日（現地（佐賀）とオンライン併用） 場 所：②佐賀県 対象者：自治体職員（①45人，②52人） 内 容：管理保全の概要，遺産影響評価の意義・役割など

エ 主な取組経緯

- (ア) 平成17年7月 鹿児島県主催で「九州近代化産業遺産シンポジウム」を開催し、「かごしま宣言」を取りまとめ
- (イ) 平成18年6月 九州地方知事会における政策連合項目として、「九州近代化産業遺産の保存・活用」が決定し、関係県での取組へ発展
- (ウ) 平成20年9月 文化庁において世界遺産暫定一覧表への追加記載決定  
10月 関係自治体による世界遺産登録推進協議会を設置
- (エ) 平成21年1月 ユネスコの世界遺産暫定一覧表へ追加記載
- (オ) 平成24年5月 「稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群を世界遺産登録に向けて推薦する場合の取扱い等について」閣議決定
- (カ) 平成25年4月 国へ推薦書原案等を提出  
9月 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を平成25年度のユネスコへの世界文化遺産政府推薦案件として決定

- ユネスコへ推薦書（暫定版）を提出
- (キ) 平成26年 1月 ユネスコへ推薦書（正式版）を提出
- 7月 産業遺産国際会議を開催
- 9月 ユネスコの諮問機関であるイコモスによる現地調査
- (ク) 平成27年 5月 イコモスによる「記載」勧告
- 7月 第39回世界遺産委員会で登録決定
- 世界遺産一覧表への記載
- (ケ) 平成28年 3月 世界遺産登録認定証伝達式
- (コ) 平成28年 4月 協議会を「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会へ名称変更
- (サ) 平成29年11月 ユネスコへ保全状況報告書を提出
- (シ) 平成30年 6月 第42回世界遺産委員会で保全状況についての審議及び保全状況について報告するようユネスコから勧告
- (ス) 令和元年11月 ユネスコへ保全状況報告書を提出
- (セ) 令和 2年 3月 「明治日本の産業革命遺産」等の情報発信を行う「産業遺産情報センター」（場所：東京都新宿区）を国が開設
- (ソ) 令和 2年11月 ユネスコへ保全状況報告書を提出
- (タ) 令和 3年 7月 第44回世界遺産委員会で保全状況についての審議及び保全状況について報告するようユネスコから要請
- (チ) 令和 3年 7月 ユネスコへ定期報告

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

シンポジウムの開催や小学生向け副読本の配布等により、県内構成資産を次の世代に引き継ぐという県民意識の醸成が図られた。

また、九州の新幹線駅等へのビジョン広告やポスター掲出等により、県内外への構成資産のPRが図られた。

更に、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組については、ユネスコ世界遺産委員会決議（勧告事項）への対応やガイド等への研修会の実施等により構成資産の管理保全が図られるとともに、クリスマスライトアップやパネル展などにより本遺産に対する理解の増進が図られた。

(2) 観光かごしま大キャンペーン推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県を訪れる観光客の一層の増加を図るため、メディア、キャリア、エージェント等を活用した効果的な誘客キャンペーン等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

【誘客対策】

官民一体となり、鹿児島島の観光を再活性化し、一層の誘致促進を図るため、コロナ禍以降、新たに注目されている旅のスタイルを捉えた事業展開をはじめ、コロナ収束時に予測される旅行需要の急激な回復に対応した施策やプロモーションに取り組む観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

ア 旅行需要を喚起する観光素材の創出

(ア) 広域観光周遊ルートの整備

a サイクルツーリズムの推進（北薩・始良地域）

県外の有識者を講師に迎えてサイクルツーリズムの推進に係るセミナーを実施した。

b 指宿・屋久島ワーケーションプロジェクト（中・南薩地域）

指宿・屋久島広域観光推進協議会が連携して実施する、地域の特性を活かしたワーケーションの受入体制の整備と機運醸成の取組に協賛した。

c 鹿児島発大隅ファムツアーの実施（大隅地域）

鹿児島市、大隅半島の観光関係者を対象に、1泊2日のファムツアーを実施し、受入側の知見を深めた。

d 拠点発周遊観光マップ（かごしまっぷ）の改訂

(イ) 本県観光素材を活用した誘客促進事業

a 個人旅行者向け体験型旅行商品販売推進事業（VISIT鹿児島県の展開）

県内の体験プランをWEB上で予約・販売できるシステムを導入し、観光客の利便性の向上と滞在時間・観光消費額の増加を図った。

b SDGs(持続可能な開発目標)を学べる体験型コンテンツ調査事業

教育旅行や企業の視察・研修などにおいて急速に注目を集めているSDGsの視点を取り入れたコンテンツやニーズ等について調査を実施した。

c ウェルネスかごしま健康増進 魅力発掘プロジェクト

令和2年度に実施した公募の中から選ばれた県内9つの旅行プランを活用し、九州在住の女性をターゲットにしたプロモーションと旅行商品造成を実施した。

(ウ) 霧島・えびの高原ロングトレイルコース整備事業

霧島地域における体験型コンテンツを充実させ、滞在の長期化、消費額の向上及び観光客誘致等の促進を図った。

(エ) 各地域の特性と魅力を活かした観光素材作り

令和3年度から県と県観光連盟に派遣されているJAL研修生の視点で、鹿児島の観光スポット及びモデルルートの情報発信を実施した。

イ 戦略的な情報発信

(ア) 県観光ホームページ「かごしまの旅」を活用した情報発信の強化

鹿児島の魅力を効果的にPRするために、こまめな情報の更新や県関係の別サイトへの接続による情報の一元化に取り組んだ。

(イ) 地域の特性を活かす広報媒体の選択と効果的PR

a 世界自然遺産に関する情報発信（雑誌社等取材協力事業）

「Discover Japan」10月号で、奄美群島認定エコツアーガイドによる徳之島の魅力及びエコツアーを紹介した。  
(発行部数：12万部)

b 観光展等出展事業

日本観光ショーケース in 大阪・関西に出展し、鹿児島の情報発信を図った。(来場者数4,775人)

c 県外書店を活用したプロモーション事業

福岡、東京、大阪、広島各書店において、鹿児島への旅行の動機付けとなるプロモーションを実施した。

ウ 効果的なプロモーション展開

(ア) 旅行エージェント・キャリア等と連携した誘客促進

a 旅行商品造成支援

①旅行エージェントの本県離島への旅行商品及び拠点観光地以外の素材を使用した旅行商品造成における支援

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
助成件数	32件	35件	70件	47件	22件	19件
送客実績	4,263人	8,024人	27,176人	17,922人	4,958人	3,679人

②受注型企画旅行等団体旅行誘致支援事業（貸切バス）

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
実績台数	68台	77台	85台	74台	4台	1台

③広域募集型企画旅行商品造成支援事業（新型コロナ対策、年度またぎ事業）

募集型企画旅行で、鹿児島県内（離島を除く）に宿泊し、広域に観光する旅行商品に対して貸切バス助成を行い、周遊滞在型旅行を促進した。実績：3件（バス7台）

b 旅行エージェントが実施する社員や代理店を対象とした現地視察研修等に対して支援を行った。実績：3件

c 旅行エージェントやキャリアが独自に行う大型キャンペーン等で本県への集中送客が見込めるものとタイプを行った。(14件)

- (イ) 観光関係団体等と連携した誘客促進
  - a 教育旅行受入対策協議会事業と連携したプロモーション  
ガイドブックを作成し、学校関係者や旅行会社に配布（3,000部）
  - b 九州観光推進機構と連携した誘客促進  
オンラインによる商談会の実施（49社）

【誘客拡大特別対策】

地域毎の魅力的な観光素材を活かし、滞在時間の長期化やリピート率の向上につながる情報発信、奄美の世界自然遺産登録などテーマ性のある誘客キャンペーン、交通キャリアとタイアップした誘客取組キャンペーンなどの取組により、本県観光の付加価値の向上や効果的な誘客促進を図るため、観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

ア 重点戦略事業参画地域毎の観光素材を活かした情報発信

- (ア) 主要観光地誘客プロモーション
  - 紙媒体やWEBメディア、SNSを活用した主要観光地の情報発信
  - a WEBサイト「ふくおかナビ」への掲載（特設ページへの記事掲載合計111ヶ所）
  - b 「ふくおかナビ」公式facebook、公式Twitter、公式Instagramでの誘導記事（計30回）  
各リーチ数合計 facebook：47,565人 Twitter：43,685人 Instagram：79,485人
  - c 月刊誌「シティ情報ふくおか」への記事掲載（3/28発売号、15ページ）
- (イ) 大隅誘客プロモーション
  - a 大隅地域の観光素材を用いたSNSによる情報発信
    - ① 女性向けの旅サイト「Tabi MUSE（WEB記事）」、「Tabi MUSE公式インスタグラム」及び「Tabi MUSE編集部兼インフルエンサー」により大隅地域の観光素材と株式会社フェリーさんふらわあの情報を発信
      - ・ Tabi MUSE（WEB記事） 投稿本数2本
      - ・ Tabi MUSE公式インスタグラム 投稿数31本（ストーリー28本、フィード投稿2件、いいね数計472、リール投稿1件再生回数10,000回）
      - ・ Tabi MUSE編集部兼インフルエンサー 投稿者2名、投稿数5本（フィード投稿4件、いいね数計621、リール投稿1件再生回数5,687回）
    - ② 大隅地域への宿泊や再訪を促すキャンペーンの実施
      - ・ 宿泊促進キャンペーン  
大隅地域の宿泊クーポン5,000円×99名分を配布
      - ・ インスタグラムキャンペーン  
所定のタグを付けて大隅旅行の写真の投稿をすると、抽選で副賞があたる取組を実施
    - ③ 株式会社フェリーさんふらわあのPR及びタイアップ  
上記①で、株式会社フェリーさんふらわあの情報発信を行い、上記②の項目について、キャンペーンの告知や協賛品の提供を実施
- (ウ) 離島（種子島・屋久島）誘客プロモーション
  - a アクティビティの詳細情報を掲載したWEB記事を作成し、「TABIPPO」及び「KADAI INFO」に掲載
  - b 大学構内でのしま旅カードの配布やトークイベントの実施による大学生を対象としたプロモーションの実施
  - c アクティビティを中心とした広告画像及び動画によるInstagram、Web広告の実施

(エ) 域内観光促進

県民向けに域内観光情報を地域紙に掲載し、情報発信及び域内観光需要を促進した。  
7月24日発行号 カラー全13段 リビングかごしま 267,923部、リビングきりしま 39,960部  
WEB版に同時掲載

イ テーマ性のある観光キャンペーン

- (ア) 奄美地域の世界自然遺産登録を見据えた誘客キャンペーン  
県が有する3つの世界遺産の魅力を伝えるため、自宅にいながら3つの世界遺産を疑似体験するオンラインツ

アーを造成・販売し、新型コロナウイルス感染症が収束した際の来訪の動機付けを行った。

	ツアー開催日時	視聴者数
1 回目	令和4年1月22日（土）14：00～15：30	114
2 回目	令和4年2月20日（日）14：00～15：30	121

(イ) 県外事務所のネットワークを活用した情報発信

東京事務所・大阪事務所・福岡事務所において、観光物産展での観光PRや、地元メディアによるPRなど、現地ならではのネットワークを活用した情報発信を実施した。

(ウ) 本県への誘客が期待できるイベント等への出展

イベント	期間	場所	来場者	内容
日本観光ショーケースin 大阪・関西	3/25(金)～3/27(日)	インテックス大阪	4,775人	商談（9件） 観光ブース設置等

ウ 交通キャリアとタイアップした効果的な誘客

(ア) 九州新幹線全線開業10周年を契機としたキャンペーン

a 「旬の鹿児島共同キャンペーン」の展開（JR九州）（令和3年10月1日～令和4年3月31日）

JR九州と連携して、鹿児島の新たな魅力を創出するキャンペーンを行い、旅行商品の造成・販売、特別料金割引、販促物・宣伝物の作成等の取組により、本県への誘客促進を図った。

・送客実績：45,553席

b 「山陽九州新幹線相互直通運転10周年記念キャンペーン」の展開（JR西日本）（令和3年3月～令和4年3月31日）※令和3年度は令和3年10月～令和4年3月分に協賛

JR西日本と連携し、10周年記念旅行商品を造成するとともに、アクティビティなどの割引特典を提供することにより、西日本エリアからの誘客を図った。

(イ) その他キャリア等との連携

a NEXCO西日本SA広告掲出及びスマホ広告配信

西日本観光周遊ドライブパスの実施期間にあわせ、北部九州のSAに観光体験商品の割引事業を紹介するデジタルサイネージ広告の掲出及び福岡県内の高速道路、SA・PAの利用者を対象に、県内の観光キャンペーンサイトへ誘導するスマホのバナー広告を配信し、誘客の促進を図った。

b ANAとのタイアップキャンペーン

ANAのキャンペーンページに掲載した本県PR動画を最後まで視聴し、アンケートに回答した方を対象に、抽選で鹿児島発着の航空券や県内での宿泊に利用可能な宿泊券をプレゼントするキャンペーンを実施し、本県への誘客強化を図った。

・応募期間：令和3年12月10日～令和4年3月10日

・ビデオ再生回数：36,254回

・応募総数：31,942名

・当選者：50名（航空券3万円分/宿泊券1万円分 各25名ずつ）

(ウ) 九州観光推進機構と連携した誘客促進

a 観光素材集の作成

b 観光素材相談会の実施

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

令和3年度年間値（R3.4月～R4.3月 観光庁「宿泊旅行統計調査」月別 ※R4.1月～3月は速報値）

延べ宿泊者数（人泊）

区分	人泊	対前年比
鹿児島県	5,218,130	116%
うち国内客宿泊数	5,202,530	116%

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が落ち込む中、新型コロナウイルス感染症による環境変化に対応した各種事業を展開するとともに、本県観光の付加価値の向上や県内広域に波及効果がある観光周

遊ルートづくり，旅行エージェントや交通キャリア等とタイアップした効果的な誘客の展開により，令和3年度の鹿児島県延べ宿泊者数のうち国内宿泊者数は5,202,530人泊，前年比増減率は116%となった。

(3) 国内誘客プロモーション事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

〈1〉 施策の目的

本県への入込客数や本県の観光地などの認知度・興味度の推移を調査・分析し，本県が実施したプロモーションの効果測定を行うとともに，新型コロナウイルス感染症拡大による旅行や観光に対するニーズの変化や，ウィズコロナ，アフターコロナにおいて求められる旅行・観光について分析する。また，戦略的なプロモーションを実施し，本県への誘客促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア マーケティング調査

(ア) 携帯電話の基地局データを用いた属性（性別・年代・居住地）別の観光客数調査

(イ) 県内の観光素材（75項目）について認知度・興味度等の調査

(ウ) 来鹿経験者に対するアンケート調査

イ マーケティング調査等に基づく誘客促進

(ア) SNSを活用した情報発信

エリアによってテーマに沿った情報発信を実施

a 離島（熊毛・奄美）で楽しめるアクティビティ等のプロモーション

実施内容	実施時期	実績
2組のインフルエンサーによるInstagramでの情報発信	令和3年11月15日公開	合計リーチ数：1,579,142 (令和4年3月14日時点)
SNS広告配信 (Instagram・Twitter・TikTok・YouTube)	令和3年12月21日～ 令和4年3月14日	合計表示回数： 3,205,139回
ウェブサイト「鹿児島 旬感島旅」特設ページ	令和3年11月15日公開	PV数：8,720 (令和4年3月14日時点)
Twitterプレゼントキャンペーン	令和3年11月15日～11月28日 令和4年3月1日～3月14日	総参加数：1,050
東京駅・名古屋駅・新大阪駅でのデジタルサイネージ広告	令和3年11月15日～ 令和4年3月31日	動画放映回数：33,900回

b 家族で楽しめる旅行（大隅地域）をテーマとしたプロモーション

実施内容	実施時期	実績
3組のインフルエンサーによるYouTubeでの情報発信	令和3年12月14日公開	合計動画配信数：15本 合計再生回数：630,904回 (令和4年3月24日時点)
LINE広告配信	令和3年12月28日～12月29日	表示回数：433,962回
ウェブサイト「かごしまなびたび」特設ページ	令和3年12月1日公開	PV数：4,317 (令和4年3月24日時点)

c 観光列車を利用した旅のプロモーション

実施内容	実施時期	実績
4組のインフルエンサーによるInstagramでの情報発信	令和3年12月14日公開	合計リーチ数：132,475 (令和4年3月24日時点)
「GENIC」Web記事掲載	令和4年1月14日～3月15日	PV数計：44,512
Instagramプレゼントキャンペーン	令和4年1月17日～1月23日	総参加数：2,927
SNS広告配信 (Instagram・Google・YouTube・LINE)	令和4年1月17日～2月14日	合計表示回数： 5,571,779回

ウェブサイト「鹿児島Colors」特設ページ	令和3年12月22日公開	PV数：23,773 (令和4年2月28日時点)
------------------------	--------------	-----------------------------

(イ) メディア媒体を活用した情報発信

中高年層を対象に購読者数が多い活字媒体や映像媒体を活用したプロモーションを展開した。

a 活字媒体を活用した情報発信

情報発信の媒体・内容	実施時期	実績
雑誌「山と溪谷」(20ページ特別付録)	令和4年2月15日発売	部数：180,000部
雑誌「山と溪谷」特別付録増し刷り 全国の登山・アウトドア専門店他にて配布	令和4年2月25日～3月31日	部数：10,000部
ウェブサイト「ヤマケイオンライン」特設ページ	令和4年3月21日公開	PV数：19,168 (令和4年3月18日時点)
YouTube動画配信(山と溪谷Ch.)	令和4年3月8日公開	再生回数：6,053回 (令和4年3月18日時点)
YouTube動画配信(オトナ女子の山登り)	令和4年3月8日公開	再生回数：11,574回 (令和4年3月18日時点)
SNS広告(Facebook)	令和4年2月24日～3月24日	インプレッション：352,260
SNS広告(Twitter)	令和4年2月24日～3月24日	インプレッション：182,954

b 映像媒体を活用した情報発信

実施内容	実施時期	実績
テレビ番組「土曜の夜は！おとななテレビ」(TVQ)	令和4年3月12日 18時30分～20時00分	北部九州，山口県
テレビ番組「アサデス。7」(KBC)	令和4年3月17日 9時55分～10時25分	九州，山口県

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、延べ宿泊者数はコロナ前と比較すると少ない状況であるが、マーケティング調査の結果に基づき、ウィズコロナ・アフターコロナの旅行先として本県を選んでもらえるよう、ターゲット毎に効果的な媒体を活用した情報発信を行ったことにより、YouTubeによる鹿児島旅動画の合計再生回数630,904回やウェブ特設ページによるPV数計19,168など、本県の認知度を高めることができた。

(4) 2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業(PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を機に、奄美群島と世界自然遺産の屋久島が連携することによる相乗効果を発揮し、奄美群島と屋久島双方の誘客拡大を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 奄美群島と屋久島を周遊するオンライン旅行商品の造成及び催行

屋久島、奄美大島の両世界遺産地域の自然や文化等、相乗効果で新たに生まれる魅力を感じることができるオンラインツアーを造成し、催行した。

	開催日	テーマ	ツアー参加人数
1回目	令和4年3月13日	食文化編	27
2回目	令和4年3月13日	焼酎編	24
3回目	令和4年3月20日	工芸品編	31
4回目	令和4年3月20日	まち歩き編	34

イ プロモーションの実施

県外からの観光客の誘致を念頭に、奄美群島から鹿児島航路(上り便)で屋久島入りする観光客を誘客するためのプロモーションを実施した。

(ア) 離島専門メディア「ritoful」でのプロモーション

a ritoful (WEBサイト, SNS等)での取材記事掲載

	掲載日	プレビュー数 (～令和4年2月27日)
メイン記事	令和4年2月15日	127
取材記事	令和4年1月15日	230
インフルエンサー投稿記事	令和3年12月24日	782

b プレスリリース配信サービスPRTIMESへの記事投稿

- ・掲載日：令和4年2月16日
- ・記事プレビュー数 (～令和4年2月27日)：830 ※転載サイトPV数は除く
- ・転載：All About NEWSほか9メディアへ転載

(イ) 「2つの世界自然遺産 屋久島と奄美大島・徳之島」フォトコンテストの開催

a 募集期間：令和3年12月1日～令和4年1月20日

- b 部門：①「世界自然遺産の島 屋久島」部門  
 ②「世界自然遺産の島 奄美大島・徳之島」部門  
 ③「奄美群島アイランドホッピング・フェリーの島旅」部門

c 応募点数：835

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

奄美と屋久島の2つの世界自然遺産の周遊促進を目的に、各テーマの地元ガイド等の協力のもとオンラインツアーを造成、催行し、コロナ禍による移動制限の中でも、今後の来島の動機付けとなる疑似体験を通じた情報を発信することができた。また、フォトコンテストの開催や、離島に特化した媒体を利用した記事のWEB配信等により、2つの世界自然遺産の魅力を生かした認知度向上及び周遊促進を図ることができた。

(5) フィルムコミッション活動支援事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

本県における映像製作の支援環境を整え、本県の魅力を情報発信する機会を増やすことにより、本県の更なる観光振興を図る。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

本県における映像制作の支援環境を整えるとともに、製作支援を実施した。

支援実績

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
映画	11件	7件	13件	9件	6件
CM	13件	8件	12件	9件	10件
TV番組	33件	15件	28件	22件	17件
TVドラマ	2件	—	1件	1件	3件
その他	17件	18件	28件	34件	11件
計	76件	48件	82件	75件	47件

※上記表については、製作支援を行った総数であり、実際に本県で撮影等が行われた総数ではない。

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

制作支援を行うことで、テレビ等による本県の魅力を情報発信する機会を創出し、本県の更なる観光振興に繋げることができた。

(6) 観光サイトシステム改修事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

鹿児島県観光サイトシステムを最新の基盤システムへ改修することにより、最新のセキュリティ対策を可能にするとともに、閲覧者にとってどんな端末からでも見やすく、操作しやすいWEBページデザインを変更することにより、更なる誘客を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光情報サイトのデザインの変更

- ・閲覧する時間帯によっておすすめのコンテンツを表示する「今の時間の楽しみ方」機能を追加した。
- ・全てのページからアクセス可能なメニュータブ機能を追加した。

イ 多言語サイトの編集

- ・英語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字）の既存コンテンツを新サイトへ移行した。
- ・ベトナム語ページを新たに構築した。
- ・コンテンツの充実およびSEO対策のため、各言語（英語、韓国語、中国語、ベトナム語）での翻訳を行った。

ウ システムの再構築

- ・閲覧端末の画面サイズに応じたページの表示ができるようシステムを変更した。
- ・基盤システムの変更によりセキュリティの強化を実施した。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が大幅に低迷していた前年と比較すると、訪問数（セッション）が前年度比119.9%、ユニークユーザー数（固有ユーザー数）が前年度比121.5%となり、観光需要の回復に向けて、サイト全体の改修による利便性向上が図られた。

県観光サイト「かごしまの旅」アクセス実績

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
訪問数（セッション数）	3,359,406回	3,411,414回	3,023,524回	3,626,238回
ユニークユーザー数	2,487,088人	2,545,548人	2,324,680人	2,823,475人

(7) 南九州観光振興事業（PR観光課）

〈1〉 施策の目的

南九州3県（鹿児島県・熊本県・宮崎県）が連携し、南九州観光情報発信や、修学旅行の誘致活動を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国内対策事業

(ア) 南九州地区修学旅行誘致促進事業

新型コロナウイルス感染症の影響による修学旅行の変更がある中、変更先や新型コロナウイルス感染症収束後に南九州3県が選ばれるために、南九州3県が連携し、効果的な修学旅行誘致を実施した。

a 令和6年（2024年）度南九州地区修学旅行素材説明会

- ・実施時期：令和4年3月1日（火）16:00～17:30
- ・参加者数：57人
- ・会場：オンライン

b 南九州3県学校向け修学旅行素材説明会

- ・実施時期：令和4年3月18日（金）15:30～16:30
- ・参加者数：52人
- ・会場：オンライン

(イ) 南九州3県周遊促進事業

南九州3県を周遊するスタンプラリーで複数県を回った方を対象に、南九州3県の特産品をプレゼントする企画を実施した。

- ・実施時期：令和3年11月23日（火）～令和4年2月28日（月）  
※新型コロナウイルス感染症の影響のため、令和4年1月17日（月）より新規スタンプの獲得を中止
- ・参加者数：249人

イ 海外対策事業

(ア) 中国向け情報発信事業

a 中国市場からの誘客促進に向けた情報発信事業

訪日旅行再開を見据え、南九州3県の観光情報を発信し、訪日旅行に意欲がある中国のFIT層への機運醸成を図るため、日本の酒と観光や文化情報を発信するイベント（Sake@文化祭）に出展し、3県の観光情報の提供やお酒の試飲を実施した。

- ・観光PRコーナーの設置
- ・南九州3件周遊ルートパンフレットの配布
- ・南九州3県の焼酎及びリキュールの試飲・販売
- ・KOL（インフルエンサー）による南九州3県ブースのライブ配信
- ・各県の焼酎を使用した焼酎カクテルの実演

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

ア 国内対策事業

修学旅行誘致セールス等を実施し、南九州広域の周遊促進が図られた。

イ 海外対策事業

中国市場における情報発信を実施し、南九州3県の観光情報の周知及び認知度向上が図られた。

(8) 海外誘客ステップアップ事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

国や九州観光推進機構等と連携しながら、現地又はWEBでのプロモーションの実施の他、現地のメディア及び旅行会社と連携した各種事業の実施など、アフターコロナに向けた誘客促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 直行便市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

鹿児島空港に直行便が就航している市場における本県の認知度向上を図るため、韓国、台湾では「観光ビジネスパートナー」を起用し、SNSやテレビ、雑誌など様々なメディアを活用した情報発信や現地旅行博覧会への出展など、B to Cをメインとしたプロモーションを行い、アフターコロナに向けた誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
香港	Facebook	388回
台湾	Facebook, Instagram	195回
韓国	Facebook, NAVER Blog	461回
中国	Wechat, Weibo	212回

b オンライン旅行博覧会等への出展

対象国	実施日	主な内容
韓国	令和3年9月5日	日韓交流お祭り「2021 in Seoul」において、観光PRを実施
中国	令和3年12月23日 ～令和4年1月23日	九州オンライン旅行博において、観光PRを実施

c B to B, B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
香港	令和3年11月30日	メディア向けの観光と焼酎のプロモーションイベントを実施	参加人数： 28人
台湾	令和3年9月1日～9月30日 令和3年12月24日 ～令和4年2月13日 (宮崎県：12/24～1/16) (鹿児島県：1/18～2/13)	台湾MRT（地下鉄）の車両内へ広告を掲載 宮崎県と連携したポップアップストアを開催し、一般向けに特産品や観光の情報を発信	

韓国	令和4年2月25日（発行日）	現地ゴルフ雑誌へ鹿児島島のゴルフに関する記事及び広告を掲載	
中国	令和3年11月14日	中国の動画配信SNSドウイン（中国版TikTok）において観光動画を配信	
	令和3年11月16日～12月6日	Trip.comのホームページにおける特集ページを掲載	
	令和4年3月16日	アリババグループと連携した観光情報発信を含むライブコマースを実施	参加人数：約87万人

(イ) 旅行会社等プロモーション

直行便が就航している韓国市場を対象に、在日の韓国旅行会社を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換を実施した。

さらに、WEBを活用したオンラインツアー等の実施を通じてアフターコロナに向けた旅行商品づくりの促進を図った。

a 視察受入

実施日	被招請者	視察地
令和3年10月14日 ～10月16日	韓国の在京ランドオペレーター	鹿児島市、出水市、指宿市、日置市、霧島市、伊佐市

b B t o C 向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加人数
香港	令和4年3月14日	奄美をテーマとしたオンラインツアーを実施（同日2回実施）	10人（1回目）
			20人（2回目）
台湾	令和4年1月9日、1月14日	鹿児島島の焼酎をテーマとした観光オンラインツアーを実施	23人（1/9）
			18人（1/14）

イ 戦略的市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場における本県の認知度向上を図るため、SNSを活用した情報発信やWEBを活用したオンラインツアーの実施等、B t o Cをメインとしたプロモーションを行い、アフターコロナに向けた誘客促進を図った。

また、在日の海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換を実施した。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
タイ	Facebook	66回
シンガポール	Facebook	125回
ベトナム	Facebook	109回
欧米豪	Facebook	112回

b B t o B, B t o C 向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加人数
シンガポール	令和3年6月 ～令和4年3月	一般向けに鹿児島島の魅力を紹介するオンラインツアーを実施（合計21回）	1,750人
欧米豪	令和3年10月25日、10月29日	アメリカの一般向けに鹿児島島の魅力を紹介するオンラインセミナーを実施	1,566人
	令和3年9月11日	オーストラリアの一般向けに鹿児島茶の魅力を紹介するオンラインセミナーを実施	13人
	令和3年12月3日（英）	イギリス、フランス、ドイツの旅行会社向けに鹿児島	73人

令和3年12月9日(仏)	島の魅力を紹介するオンラインセミナーを実施	36人
令和3年12月14日(独)		20人

(イ) 旅行会社等プロモーション

本県への観光客誘致促進を図るため、WEBセールスを実施した。

また、WEBを活用したオンラインツアー等の実施を通じてアフターコロナに向けた旅行商品づくりの促進を図った。

a 視察受入

実施日	被招請者	視察地
令和3年12月12日 ～12月14日	タイの在京ランドオペレーター	日置市, 霧島市, いちき串木野市, 南九州市, 伊佐市, 湧水町
令和4年2月16日 ～2月18日	(株)エイチ・アイ・エス	鹿児島市, 指宿市, 垂水市, 南九州市
令和4年3月13日 ～3月16日	国内の欧米富裕層向け旅行会社	鹿児島市, 日置市, 霧島市, 屋久島町
令和4年3月21日 ～3月23日	国内の欧米富裕層向け旅行会社	鹿児島市, 霧島市

b B to B, B to C 向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加人数
シンガポール	令和3年10月23日	一般向けに鹿児島の焼酎をテーマとした観光オンラインツアーを実施	103人
	令和3年11月26日	旅行会社等向けに鹿児島の魅力を紹介するオンラインツアーを実施	17人
ベトナム	令和4年3月9日	旅行会社等向けに鹿児島の魅力を紹介するオンラインツアーを実施	25人

(9) 国際クルーズ船誘致促進事業 (PR観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

クルーズ船の本県への更なる誘致を図るため、本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向けたプロモーション等を戦略的・一体的に展開する。

<2> 施策の実施状況 (アトプット)

ア 現地セールス活動

(ア) 国内外セールス活動

本県へのクルーズ船誘致促進のため、クルーズ船社や旅行会社等へのセールス活動等を行った。

a WEBによるセールス

実施日	相手方
令和3年4月16日	日本船社
令和3年6月18日	船舶代理店
令和3年6月21日	旅行会社
令和3年6月23日, 28日	日本船社
令和3年7月5日	旅行会社
令和3年7月9日, 14日, 19日	海外船社

b 訪問によるセールス

実施日	訪問先
令和3年10月21日～22日	東京, 神奈川
令和3年11月1日～2日	東京, 大阪, 福岡

イ 船社等視察受入

実施日	視察地
令和3年10月26日～27日	甑島各港及び島内観光地
令和3年11月29日～12月1日	屋久島各港及び島内観光地
令和3年12月27日	鹿児島市, 垂水市, 霧島市
令和3年3月24日～26日	奄美大島内観光地

ウ 海外クルーズ・コンベンションへの参加

実施日	開催地	主な活動内容
令和3年10月15日	オンライン (台湾港湾局等)	鹿児島の世界自然遺産である屋久島, 奄美大島, 徳之島についてプレゼンを実施

〈3〉 施策の実施による成果 (アウトカム)

コロナ禍の中, 国際クルーズの運航休止が続いており, 寄港数は極めて少ない状況となったが, クルーズの本格的な運航の再開に向けて, セールスや情報発信による寄港地としての本県の認知度を維持・向上することができた。

県内各港クルーズ船入港実績

(単位: 回)

港名	R1年	R2年	R3年
鹿児島	106	4	2
西之表	6	—	—
宮之浦	17	1	1
名瀬	20	2	—
古仁屋	2	—	—
湾	—	—	—
平土野	3	—	—
和泊	1	—	—
与論	1	—	—
合計	156	7	3

(10) 東京オリパラ特別プロモーション事業 (PR観光課) 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

令和3年7月下旬から9月初旬にかけて開催される東京オリンピック・パラリンピックを海外から日本へ注目が集まる好機と捉え, 訪日海外メディアを活用した特別プロモーションを実施することにより, 外国人観光客の鹿児島への誘客を図る。

〈2〉 施策の実施状況 (アウトプット)

来日メディアを活用したプロモーション

〈3〉 施策の実施による成果 (アウトカム)

東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて海外メディアを通じた本県の観光PRを図る目的で, 事業の準備を進めていた。しかし, 首都圏での新型コロナウイルス感染症の感染拡大や大会組織委員会が示した来日メディアの行動制限等を踏まえ, 招請ツアー催行の見通しが立たないため, やむなく事業を中止することとした。

(11) 「稼げる」観光地域づくり推進事業 (PR観光課)

〈1〉 施策の目的

「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成, 新たなマーケティングやコンテンツの造成等に対する支援を行い, 地域の多様な関係者が連携した観光地域づくりの推進体制を確立し, 各エリアの観光戦略に基づく観光地経営

による「稼げる」観光地域づくりを推進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 「稼げる」観光地域づくり人材養成講座

専門人材育成のため、観光地経営のノウハウ等取得を目的とした講座を開催

- ・日 程：①令和3年10月5日(火)、②10月19日(火)
- ・参加者：①37人、②33人
- ・その他：講座の最終回には、セミナー参加者による取組報告会を開催

イ 観光地経営レベルアップ支援

県内の各DMOの課題に沿った支援を行うため、専門家派遣による助言・指導を実施

- ・実 績：㈱おおすみ観光未来会議・・・6回  
          (一社)あまみ大島観光物産連盟・・・7回  
          ㈱薩摩川内市観光物産協会・・・7回

ウ 観光ガイド育成セミナー

地域における観光ガイドの育成・自立化に向けた研修会を開催

- ・日 程：令和3年11月10日(水)～11日(木)
- ・参加者：18人
- ・内 容：スキルアップ研修及び実践研修

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成等を実施した結果、各エリアの観光戦略に基づく観光地経営による「稼げる」観光地域づくりの体制づくりが推進された。

(12) サイクルツーリズム推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県での自転車を活用した周遊観光の推進による交流人口の拡大を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 県サイクルツーリズム推進協議会等の開催

(ア) 県サイクルツーリズム推進協議会の開催

- ・日 程：令和3年7月8日(木)  
          令和3年10月中旬(書面開催)  
          令和4年2月14日(月)
- ・内 容：設立総会、ロゴマークの承認、モデルルートの承認 など

(イ) 県サイクルツーリズム推進協議会地域部会の開催

- ・実 績：熊毛地域部会・・・8回  
          北薩摩地域部会・・・5回
- ・内 容：モデルルート案の検討、実走 など

イ サイクルツーリズムセミナーの開催（オンライン）

- ・日 程：令和4年2月14日(月)
- ・参加者：91人
- ・内 容：サイクルツーリズムに係る誘客・安全確保・ユニバーサルツーリズムについての先進事例紹介

ウ サイクルツーリズム特集ホームページの開設

県観光サイト「かごしまの旅」内に、県内のサイクルツーリズム情報を一元的に紹介するサイクルツーリズム特集ページを開設。

- ・開 設 日：令和4年3月31日(木)
- ・内 容：かごしまサイクルの魅力、おすすめサイクリングルート、サイクリングインフォメーションなど

・対応言語：日本語，英語，繁体字(台湾)

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

地域部会の開催等により県内の関係者間のネットワーク構築や、県サイクルツーリズムロゴマーク及び北薩摩地域、熊毛地域におけるモデルルートの策定などによりサイクルツーリズム推進に向けた機運の醸成が図られた。

(13) 磯新駅設置支援事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産が存する磯地区に新駅を設置することにより、県全体の観光の振興を図るため、関係団体及び鹿児島市等と連携し、新駅設置に向けた支援を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

磯新駅設置協議会に対し、負担金を拠出した。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

磯新駅の設置に向け、関係団体における各種調整が図られた。

(14) スポーツ観光王国かごしま確立事業（スポーツ振興課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

スポーツを通じた観光客の増加を図るため、官民一体となってスポーツキャンプ・大会誘致及び参加者・観客への本県観光PRに取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア スポーツキャンプ対策県連絡会の開催

	開催期日	内 容	参加者数
第1回	令和3年8月11日 ※ 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ振興に係る県の取組について</li> <li>・ 地域振興局・市町村における取組状況について</li> <li>・ 令和2年度スポーツキャンプ・合宿状況調査結果について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大による影響と取組等について</li> <li>・ 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の受入について</li> </ul>	—
第2回	令和3年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県のスポーツ振興の施策について</li> <li>・ 講演 「スポーツによる地方創生，まちづくり」 講師 原口大志スポーツ庁参事官（地域振興担当）</li> <li>・ 意見交換</li> </ul>	67人 ※うち25人はWeb参加

イ スポーツ合宿等の誘致・受入強化

(ア) スポーツ合宿・大会誘致促進モデル実証

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅を中心とした大隅地域のスポーツ合宿等の誘致・受入体制を強化するため、各種関係団体や旅行会社等に対するヒアリング結果を踏まえ、課題抽出及び今後の対応を提案する業務を（一社）九州スポーツツーリズム推進協議会へ委託して実施した。

ウ 本県でキャンプを行うプロスポーツチーム等に対する激励品の贈呈

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
プロチーム等受入団体数	14団体	24団体	22団体	13団体	22団体

エ 本県でキャンプを行うプロスポーツチームの情報発信

(ア) キャンプ情報案内所の設置

設 置 場 所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル内（1階到着ロビー横）	令和4年1月18日～3月6日

(イ) 「かごしまプロスポーツキャンプガイドブック2022」による周知

設置場所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル、鹿児島中央駅、県内ホテル等	令和4年1月25日～3月6日

(ウ) 課公式インスタグラム「どんすば」を活用した「Jリーグ春季キャンプ応援キャンペーン」の実施

実施期間	応募者数
令和4年1月20日～3月6日	183件

<3> 施策の成果(アウトカム)

県内で実施される春季プロスポーツキャンプ等の周知を図ることにより、交流人口の拡大や地域活性化に寄与した。県外からのスポーツキャンプや合宿の受入については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は令和元年度と比較すると減少しているが、令和2年度からは増加している。

【スポーツキャンプ・合宿の受入状況】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ人数(人)	144,657	152,536	160,572	45,945	62,692
対前年度比増減(%)	0.5	5.4	5.3	△71.4	36.5
対前年度増減数(人)	711	7,879	8,036	△114,627	16,747
実人数(人)	32,877	33,446	37,047	7,257	12,245
団体数	1,273	1,308	2,168	383	574

(15) 東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿誘致事業(スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

東京オリンピック・パラリンピック等の国際スポーツ大会の開催効果を県内に波及させるため、市町村や関係団体と一体となって、参加国が実施する事前合宿の誘致・受入に取り組む。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプについて市町村と連携して受入を行った。

<3> 施策の成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期となった東京オリンピック・パラリンピックに係る事前キャンプの受入を行った。

【事前合宿受入実績】

受入市町村	国	競技種目	合宿期間
鹿児島市	南アフリカ	7人制ラグビー	令和3年7月17日～7月23日
薩摩川内市	ベネズエラ	男子バレーボール	令和3年7月10日～7月19日
薩摩川内市	アルゼンチン	男子バレーボール	令和3年7月13日～7月20日

(16) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業(スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

本施設を核とした、スポーツ合宿等の実施により、大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図るため、トップアスリート等の合宿誘致・受入及び施設維持管理等に関する業務の委託を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 事業内容

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の管理運営

イ 指定管理者

(ア) 名称 ニチガスクリエイト・ミズノ共同事業体

(イ) 期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)

ウ PR活動

(ア) ホームページやSNSを活用したPR

(イ) 広報用リーフレットを活用したPR

(ウ) マスコミ等を通じたPR

- (エ) アスリートトレーニングセンター大隅のSNS等を活用したPR
- エ 誘致活動
  - (ア) 九州・中国・四国・近畿・東海・関東などの各エリアで開催される陸上競技の各種大会に出向いて、本施設のPR（計10回）の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中国エリアで1回のみ実施
  - (イ) これまで本施設で合宿を行った団体や、各種大会でのPR時に連絡先をいただいた団体に対し、電話やパンフレット送付によるPR活動を実施
  - (ウ) 指定管理者（ミズノ）のノウハウやネットワークを活用したトップアスリート等の誘致活動を実施
- オ 令和3年度の主なスポーツイベントの企画・実施
  - 施設利用促進や競技力向上を図るため、走り方教室などのスポーツイベントを実施
- カ トップアスリートを活用した地域スポーツ振興
  - (ア) ミズノトラッククラブ所属のアスリートによる地域の学校等での交流やスポーツ教室
    - 飯塚翔太選手（東京オリンピック男子200m日本代表）等による学校訪問やスポーツ教室の実施
- キ ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅連絡会の開催

	開催期日	内 容	参加者数
第1回	令和3年11月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅連絡会設置要綱改定について</li> <li>・ 令和3年度の利用状況（自主事業等の報告を含む）について</li> <li>・ 令和3年度事業状況について</li> <li>・ 受入れ体制強化に向けた協議</li> </ul>	26人
第2回	令和4年3月25日 ※ 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度の利用状況（自主事業等の報告を含む）について</li> <li>・ 令和4年度事業計画について</li> <li>・ スポーツ合宿等誘致・受入強化業務事業報告について</li> </ul>	—

〈3〉 施策の成果(アトカ)

- ア 主な成果
  - 施設利用者については、年間31,821人（令和元年度比23.0%減）にとどまったが、令和2年度の実績（年間23,334名、令和元年度比43.5%減）から大きく増加した。
- イ 令和3年度利用者数及び主な利用者（トップアスリート）
  - (ア) 利用者数 31,821人
  - (イ) 主な利用者（トップアスリート）
    - 令和3年度は、日本記録保持者、日本選手権3位以内、直近2大会オリンピックパラリンピック世界大会の日本代表などのトップアスリートが、以下の選手をはじめとする45名利用があった。
    - 小池 祐貴 選手（東京オリンピック100m、4×100mR日本代表）
    - 山縣 亮太 選手（東京オリンピック100m、4×100mR日本代表）
    - 飯塚 翔太 選手（東京オリンピック200m日本代表）
    - 金井 大旺 選手（東京オリンピック110mハードル日本代表）
    - ケンブリッジ飛鳥 選手（リオオリンピック4×100mR日本代表）

(17) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉 （再掲）  
2（2）①(3)において前述

(18) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉 （再掲）  
2（2）①(4)において前述

③ オール鹿児島でのおもてなしの推進

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	16,971	6,775	—	10,196	16,968	6,775	—	10,193
内 訳 外国人観光客受入体制 整備事業	16,971	6,775	—	10,196	16,968	6,775	—	10,193
計	16,971	6,775	—	10,196	16,968	6,775	—	10,193

(1) 外国人観光客受入体制整備事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

国や九州観光推進機構等と連携しながら、鹿児島を訪れた海外の観光客が快適に周遊できるように、観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などの受入体制の整備を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光案内の実施

国際観光推進機構の「JNTO認定外国人観光案内所」（外国人のための外国語による観光案内所）とタイアップして、外国人観光客の利便を図るための観光案内、情報提供を行った。

- ・JNTO認定外国人案内所：25か所（R4.6末時点）

イ 全国通訳案内士試験セミナー開催

外国語で観光案内を行う全国通訳案内士（国家資格）になるための試験概要や資格についての説明を行うとともに、現役の通訳案内士による講演等を実施した。

- ・実施日：令和3年7月31日
- ・参加者：14人

ウ 通訳ガイド有資格者レベルアップ研修セミナー開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図る一環として、全国通訳案内士（国家資格）等のレベルアップに向け、座学講習及び実務研修を実施した。

- ・実施日：令和3年12月18日～令和4年2月19日（座学講習4回、実務研修2回、フォローアップ講習1回）
- ・参加者：延べ32人

エ 外国人観光客受入体制推進講習会の開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図るため、外国人観光客受入体制推進講習会を実施した。

- ・実施日：令和3年9月29日
- ・参加者：84人

オ インバウンド実務担当者研修会の開催

アフターコロナを見据えた受入体制の課題を共有し整備拡充を図っていくため、インバウンド実務担当者研修会を開催した。

(ア) 第1回

- ・実施日：令和3年10月21日
- ・参加者：72人

(イ) 第2回

- ・実施日：令和4年3月2日～3日
- ・参加者：111人（2日間延べ人数）

カ ムスリム・フレンドリーセミナーの実施

ムスリムやベジタリアンなど多様な文化、習慣を持つ外国人旅行者が安心して「食」を楽しむとともに、快適に滞在できる受入環境の整備を推進するためにセミナーを実施した。

- ・実施日：令和3年11月12日
- ・参加者：30人

キ 多言語コールセンターの運営

本県を訪れた外国人観光客が快適に周遊できるよう、多言語コールセンターを設置し、24時間365日対応の電話通訳サービスを提供した。

・開設日：平成30年7月27日

・対象：宿泊施設、観光案内所、観光施設、交通事業者、飲食店、小売店（大規模小売店舗除く）、医療機関、警察及び外国人観光客（令和元年10月1日から医療機関、警察）

・利用件数：毎月平均4件（令和3年度）

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などにより、受入体制の整備向上が図られた。

### (3) 国際化と多文化共生の実現

#### ① 交流会議等を核とした国際交流の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	144,060	—	67,660	76,400	130,792	—	67,148	63,644
内								
国際交流企画管理事業	18,369	—	18,000	369	18,215	—	18,000	215
在外県人会等育成事業	1,126	—	—	1,126	1,060	—	—	1,060
渉外事務事業	820	—	—	820	531	—	—	531
アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業	47,400	—	44,000	3,400	47,400	—	44,000	3,400
外国青年招致事業	16,096	—	—	16,096	13,816	—	—	13,816
海外技術協力等推進事業	968	—	—	968	557	—	—	557
アジア地域との交流	2,689	—	—	2,689	86	—	—	86
アジアかごしまクラブ形成事業	956	—	—	956	911	—	—	911
渡航事務事業	49,053	—	5,660	43,393	48,081	—	5,148	42,933
海外情報ネットワーク形成事業	82	—	—	82	0	—	—	0
清華大学との交流促進事業	888	—	—	888	0	—	—	0
第21回鹿児島・シンガポール交流会議	4,829	—	—	4,829	0	—	—	0
英国自治体との交流促進事業	496	—	—	496	135	—	—	135
訳								
米国ジョージア州との交流	288	—	—	288	0	—	—	0
計	144,060	—	67,660	76,400	130,792	—	67,148	63,644

#### (1) 国際交流企画管理事業（国際交流課）

##### <1> 施策の目的

国際交流施策の総合的な企画立案を行うとともに、都道府県、九州各県及び県内市町村との連絡調整や意見交換を行い、国際交流の推進を図る。

また、地方公共団体の共同組織として設立された(一財)自治体国際化協会の運営に要する経費の一部を負担し、地域レベルの国際化推進等を図る。

##### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

###### ア 国際交流推進連絡

庁内における各種国際交流事業の総合的企画・連絡調整を行うとともに、今後の国際交流を幅広く推進するため、各都道府県・県内国際交流団体との情報共有を行った。

###### イ 地域国際化連絡会議（総務省）

書面開催、動画配布

###### エ (一財)自治体国際化協会負担金

外国青年招致事業等を実施する同協会に対して、負担金（18,000千円）を支払った。

##### <3> 施策の実施による成果（アウトカム）

各都道府県、九州各県、県内市町村及び県内国際交流団体との相互連携を深め、国際交流施策の円滑な推進が図られた。

(2) 在外県人会等育成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

県海外移住家族会や在外県人会等と協力して本県出身移住者の援助促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

海外移住者の安定化を図るため、（公財）鹿児島県国際交流協会及び鹿児島県海外移住家族会の事業に対し助成を行うとともに、関係機関や在外県人会等との連絡調整を行った。

ア 在外県人会等育成費補助金

- ・（公財）鹿児島県国際交流協会に対し、補助金を交付（960千円）
- ・同協会が4在外県人会と業務委託契約し、移住者の援護指導、消息不明者の調査、子弟の育成・指導等を実施。  
（ブラジル560千円、アルゼンチン184千円、ペルー104千円、パラグアイ80千円、事務費32千円）

イ 鹿児島県海外移住家族会協力活動費補助金

- ・鹿児島県海外移住家族会に対し、補助金を交付（100千円）  
（在外県人会に係る情報提供、親善交流、移住者援護等）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

在外県人会による現地での活動が促進され、海外における本県の認知度向上が図られた。

(3) 渉外事務事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

関係国との友好を深め、県民の国際理解・友好親善等を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 外国大使・総領事、使節団等の来鹿に伴う接遇及び通訳、公文書等の翻訳を行った。

年 度	R1	R2	R3
接 遇 及 び 通 訳	9件	12件	12件
公文書等の翻訳	394件	210件	79件

イ 北方領土返還要求運動に係る広報等の協力や、青年海外協力隊活動の支援を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

関係国との相互理解及び友好関係を促進し、国際協力に寄与した。また、翻訳により、県の海外交流の促進、多言語でのPR等に寄与した。

(4) アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジアを中心とする海外からの研修生の受入れや、これらの人々と県民との交流を通じた国際理解の増進、生活・文化学習など多様な機能を有するアジア・太平洋農村研修センターの円滑な管理運営を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

アジア・太平洋農村研修センターの維持管理及び国際交流・理解に係る研修等を実施した。

＜利用実績＞

年 度	R1	R2	R3
利用者数	11,683人（うち外国人1,982人）	5,281人（うち外国人117人）	5,566人（うち外国人79人）
研修団体数	195団体	77団体	81団体

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民や在留外国人による研修利用がなされたことにより、交流を通じた国際理解の促進が図られた。

(5) 外国青年招致事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

本県における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際交流の促進に資するため、語学指導や国際交流活動を行う外国青年を招致する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

「語学指導等を行う外国青年招致事業（昭和62年度～）」により、県及び市町村に国際交流員12人、外国語指導助手115人の外国青年を配置した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県及び市町村に配置された国際交流員及び外国語指導助手を活用することにより、国際交流の推進や外国語教育の質の向上が図られた。

(6) 海外技術協力等推進事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

開発途上国から技術研修員を受け入れ、その国の発展と繁栄に貢献し得る人材を育成するとともに、相互の経済・文化の交流促進に寄与する。

また、南米における本県出身移住者の子弟を県内の大学に留学させ、本県と移住先国との緊密化に貢献する有為な人材を育成する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

海外技術研修員及び県費留学生において、各3人を受入予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、本人たちの研修又は留学辞退の申し出を受け、令和3年度は受入中止とした。

(7) アジア地域との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

国際化の進展に対応するため、アジアに広がる国際交流ネットワークの形成を目指し、韓国全羅北道、中国江蘇省との交流協議会の合意に基づいた取組等を通じて、更なる交流の促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 第7回鹿児島県・全羅北道交流協議会

平成元年（1989年）に調印した「友好協力の推進に関する共同宣言」に基づき、30年以上に渡り、行政間交流をはじめ各般の交流を推進してきた。令和3年度は、鹿児島県で協議を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症に伴う渡航制限等により、書面合意を行った。

実施日：令和4年2月9日

イ 第24回鹿児島県・江蘇省交流協議会

鹿児島県と江蘇省との友好交流の関係を強化するため、観光・経済分野における交流の一層の充実・拡大など、今後の交流の在り方等について、令和3年度は江蘇省を訪問し協議を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症に伴う渡航制限等により、オンラインによる会議を実施した。

実施日：令和4年1月25日

出席者：県観光・文化スポーツ部次長、県国際交流課3名、江蘇省外事弁公室5名

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

長年にわたり続けてきた友好交流の継続及び今後のさらなる交流の促進が確認された。

(8) アジアかごしまクラブ形成事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

アジア地域との様々な分野での交流を拡大するため、これまでの交流実績により培ってきた貴重な財産である人的ネットワークの形成を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域との人的ネットワークの形成を推進するために設立した香港、シンガポール、韓国全羅北道のアジアかごしまクラブへの活動助成を行った。

〈クラブの状況〉（各年5月1日現在）

（単位：人）

ク ラ ブ 名	会 員 数			
	設立時	R1	R2	R3
香 港 か ご し ま ク ラ ブ	173	400	400	400
かごしまクラブシンガポール	41	127	130	130
全羅北道かごしまクラブ	42	213	214	218

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

各地のかごしまクラブの活動により、人的交流などが円滑に促進された。

(9) 渡航事務事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

旅券法の規定により、国からの法定受託事務である旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を処理した。

年度	旅券交付件数
R1	27,220件
R2	3,061件
R3	2,577件

イ 県民サービスの一層の向上を図るため、「鹿児島県事務処理の特例に関する条例」に基づき、旅券の発給申請の受理、交付等の事務を権限移譲している。

〈権限移譲市町村〉

開 始 時 期	移 譲 先 市 町 村	市町村数
平成19年4月1日	与論町	1
平成20年4月1日	出水市, 阿久根市, 霧島市	3
平成22年4月1日	鹿屋市, 西之表市, 伊佐市, 錦江町, 南大隅町, 中種子町, 南種子町, 大和村, 徳之島町	9
平成23年4月1日	指宿市, 垂水市, 南九州市, さつま町, 長島町, 湧水町, 宇検村, 伊仙町	8
平成24年4月1日	志布志市, 大崎町, 肝付町, 天城町, 和泊町, 知名町	6
平成25年4月1日	枕崎市, 曾於市, 東串良町, 瀬戸内町, 喜界町	5
平成26年4月1日	日置市, 南さつま市, 奄美市, 屋久島町, 龍郷町	5
平成27年4月1日	いちき串木野市	1
平成29年4月1日	始良市	1
	合 計	39

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

適切な事務を行うことによって、円滑かつ正確な旅券の発給を行うことができた。

(10) 海外情報ネットワーク形成事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

本県の海外でのイメージや知名度の向上を図るとともに、海外の観光客の誘致促進、県産品の販路拡大など、観光をはじめとする本県産業の振興に資する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

本県と海外との永年の交流の中で培ってきた人的ネットワーク等を活用し、海外向けに本県の観光・物産等のPR記事を掲載した外国語（英語・韓国語）及び日本語によるメールマガジンを発行し、情報発信を行った。

メールマガジン登録者数（各年度3月末時点）（単位：人）

年度	英 語	中国語	韓国語	日本語	合 計
R1	686	246	131	581	1,644
R2	699	253	133	598	1,683
R3	701	253	133	600	1,687

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

本県の観光や特産品等に関する情報を発信することにより、本県のイメージや知名度の向上、産業振興の促進が図られた。

(11) 清華大学との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

平成25年8月に締結した清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和3年度は中止した。

ア 青少年学生交流

(ア) 清華大学留学支援奨学金交付事業（国際交流課）

イ 学術交流

(イ) 文化芸術交流事業（文化振興課）

(イ) 環境分野交流事業（環境林務課）

(12) 第21回鹿児島・シンガポール交流会議（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

アジアの貿易・金融の中心地として目覚ましい発展を遂げているシンガポールとの各般にわたる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域における国際ビジネスの拠点となっているシンガポールとの各般にわたる交流を促進するため、第21回鹿児島・シンガポール交流会議を鹿児島で開催予定だったが、渡航制限等により鹿児島での開催が困難となったため、令和5年度に開催を延期した。

(13) 英国自治体との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

友好協定を締結している英国自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、未来の鹿児島を担うグローバルな人材の育成を図るとともに、鹿児島と英国との更なる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

友好協定を締結している英国地方自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、交流の促進を図ることとしていたが、相互の往来が困難となったため中止した。なお、薩摩スチューデントの派遣については、本県高校生3名がオンラインで実施された英国教育体験プログラムに参加した。

ア マンチェスター市長来鹿

イ 薩摩スチューデントの派遣

ウ ロンドン・カムデン区青少年等来鹿

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

本県高校生が英国教育体験プログラム（オンライン）に参加し、グローバルな人材の育成及び交流の促進が図られた。

(14) 米国ジョージア州との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

昭和41年、本県と姉妹盟約を結んだ米国ジョージア州との間で、さらなる交流促進に向けた取組を行い、両県州の親善関係を強化していく。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

姉妹盟約を締結している米国ジョージア州知事等の受入れや、大学生を対象にした相互理解講座の実施により、親善関係の強化を図ることとしていたが、州知事及び留学生の来日が困難となったため中止した。

② 日本人と外国人が共生する地域づくり

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	その 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	その 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	47,988	1,214	36,430	10,344	46,070	489	36,430	9,151
内 国際交流プラザ設置事業	18,580	—	10,000	8,580	18,557	—	10,000	8,557
内 かごしま多文化共生社会推進事業	2,793	1,214	—	1,579	1,040	489	—	551
内 かごしま留学生支援事業	2,185	—	2,000	185	2,043	—	2,000	43
訳 鹿児島県国際交流センター管理運営事業	24,430	—	24,430	—	24,430	—	24,430	—
計	47,988	1,214	36,430	10,344	46,070	489	36,430	9,151

(1) 国際交流プラザ設置事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

県民と外国人の相互理解を深めるため、国際交流プラザにおいて、県民・外国人・国際交流団体へ交流の場や情報の提供を行うほか、各種相談対応、語学等に関する研修を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

諸外国の生活・文化等の情報提供、県民からの海外渡航等に関する相談への対応、外国人による語学・文化講座等を実施した。

<利用実績>

年 度	R1	R2	R3
国際交流プラザ利用者	16,395人	9,959人	8,307人
相 談 件 数	162件	51件	32件

※ 令和元年10月から、外国人からの相談は外国人総合相談窓口で対応しているため、相談件数は外国人以外からを計上

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県民向けの各種情報の提供・発信や相談受付のほか、外国語講座や文化講座等の実施を通じて、県民の国際理解が深まった。

また、在留外国人との交流が促進されることで、多文化共生社会の実現の促進が図られた。

(2) かごしま多文化共生社会推進事業（国際交流課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

外国人が住みやすい魅力的な鹿児島の実現を図るため、県民と在留外国人との多文化共生社会の実現に向けた取組を実施する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

外国人が住みやすい魅力的な鹿児島の実現を図るとともに、多くの外国人が県内各地で活躍できるよう、県民と在留外国人の交流イベント・講座の開催や地域における特色ある交流活動等を支援したほか、日本語等講座の実施や日本語サポーターの養成、アドバイザーの派遣、関係機関による連絡会議などを開催した。

ア 在留外国人と県民との交流促進事業（かごしま多文化共生社会推進事業補助金）

内 容：畑の苗植等を通じた異文化交流

自然を体感し交流するツアー

そば打ち体験等を通じた交流会

イ 日本語・日本文化等理解講座の実施

実施日：令和3年9月12日，9月26日，10月10日，10月24日，10月31日

ウ 日本語サポーター（語学ボランティア）の養成

(ア) 対象地域：始良・伊佐地域（霧島市）

実施日：令和3年10月9日，10月30日，11月13日，12月11日，令和4年1月8日，2月27日

(イ) 対象地域：大隅地域（曾於市）

実施日：令和3年11月28日，12月12日，12月26日，令和4年1月9日

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため一部中止）

エ 多文化共生アドバイザーの派遣

派遣先：志布志市

派遣日：令和3年11月9日

内 容：多文化共生に関する取組事例の紹介，課題抽出の手法に係る助言等

オ 関係機関との連絡調整

(ア) 庁内連絡会議の開催（書面）

実施日：令和4年1月27日

内 容：関連施策等とりまとめなど

(イ) 市町村連絡会議の開催（オンライン）

実施日：令和3年8月17日

内 容：多文化共生社会推進に関する情報提供など

(ウ) 日本語教室代表者ネットワーク会議の開催（オンライン）

実施日：令和3年11月30日

内 容：事例紹介，課題共有など

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

補助金の交付やアドバイザーの派遣，各種講座・会議の開催を通じて，多文化共生社会の推進が図られた。

特にアドバイザーの派遣については，派遣先で異文化交流に係る取組が検討されるなど，当該事業の実施市町村における在留外国人支援に向けた気運の醸成が図られた。

(3) かごしま留学生支援事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

私費外国人留学生の勉学・生活の安定化と将来の人的ネットワークの形成に資するため，県内大学等に在籍する留学生に対し，奨学金を交付する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

県内在住の私費外国人留学生10人に，月額20千円の奨学金を交付した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

留学生による県内の国際交流イベントへの参加等が促進されるとともに，将来の人的ネットワーク構築に寄与した。

(4) 鹿児島県国際交流センター管理運営事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

留学生等に宿泊施設を提供するとともに，留学生等の相互交流や留学生等と県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材の育成及び国際相互理解の促進を図るために設置した，鹿児島県国際交流センターの管理運営を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和2年4月1日より供用が開始された「かごしま国際交流センター」において，留学生等へ宿泊施設を提供し，留学生等の相互交流や県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材育成，国際相互理解促進を図った。

ア 事業内容

センターの管理運営の委託〔指定管理〕

(ア) 施設の維持管理に関する業務

- (イ) 施設を利用した事業の企画及び実施に関する業務
- (ウ) 施設の利用者の募集及び利用の許可に関する業務
- (エ) 施設の利用に係る料金に関する業務 等

イ 令和3年度管理業務の実施状況

(ア) 入居者数 37人（うち外国人 29人）

(イ) 指定管理者 鹿児島国際交流促進センター

ウ 関係機関との連絡調整

かごしま国際交流センター管理運営連絡会議 令和3年度代表者会

実施日：令和3年7月13日

内 容：今年度の事業計画，現在の指定管理者間の連携状況，今後の連携や実務者間で協議していく事項についてなど

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，留学生の多くが入国できず居室数に対して入居者数が少ない状況となったが，感染対策をとりながら関係団体と連携して交流事業や研修事業を実施し，人材育成及び国際相互理解の促進が図られた。

# 13 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策

## (1) 感染症拡大防止対策と医療体制整備

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
国際交流促進費	161,368	—	161,367	1	161,367	—	161,367	—
内 鹿児島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業	161,368	—	161,367	1	161,367	—	161,367	—
文化施設費	223,301	211,341	11,960	—	74,429	74,429	—	—
内 文化施設感染症防止対策事業	136,030	136,030	—	—	1,447	1,447	—	—
内 文化施設感染症防止対策事業(繰越)	81,139	71,139	10,000	—	67,757	67,757	—	—
内 文化施設キャッシュレス化推進事業	6,132	4,172	1,960	—	5,225	5,225	—	—
観光費	251,388	251,388	—	—	196,897	196,897	—	—
内 宿泊施設感染防止対策支援事業	229,157	229,157	—	—	182,612	182,612	—	—
内 魅力ある観光地づくり事業	95	95	—	—	83	83	—	—
内 観光施設管理事業	21,157	21,157	—	—	13,374	13,374	—	—
内 ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業	979	979	—	—	828	828	—	—
計	636,057	462,729	173,327	1	432,693	271,326	161,367	—

文化施設感染症防止対策事業 翌年度への繰越額 133,796千円

### (1) 鹿児島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業(国際交流課) 〈地方創生関連事業〉

#### <1> 施策の目的

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に関し、ホストタウン及び事前キャンプ地における外国人選手等の受入れに際しての新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を支援する。

#### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

国からの交付金を財源に令和2年度に造成した鹿児島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金により、オリンピックの事前合宿を受け入れた市町村へ新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を支援した。

#### <3> 施策の実施による成果(アウトカム)

オリンピックの事前合宿を受け入れた鹿児島市と薩摩川内市に対して、必要な新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を支援することで、適切な対策の下で外国人選手等が招致された。

### (2) 文化施設感染症防止対策事業(文化振興課)

#### <1> 施策の目的

各施設における感染症防止に係る消耗品等を購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。

#### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

消耗品等の購入状況

品目	黎明館	文化センター	霧島国際音楽ホール	霧島アートの森	合計
消毒液	90L	480L	140L	260L	970L
マスク(職員用)	204箱	68箱	93箱	67箱	432箱
ペーパータオル	2箱	—	—	—	2箱

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

消毒液等の衛生用品の整備により，県有の文化施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながった。

(3) 文化施設感染症防止対策事業（繰越）（文化振興課）

〈1〉 施策の目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため，黎明館，文化センター，みやまコンセール及び霧島アートの森のトイレ改修を行うほか，黎明館の空調設備改修を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア トイレ改修

各施設において，トイレの一部の洋式化を行った。

イ 黎明館空調設備改修

黎明館の空調・換気を適正に実施するため，空調設備改修を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

トイレの洋式化等により，県有の文化施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながった。

(4) 文化施設キャッシュレス化推進事業（文化振興課）

〈1〉 施策の目的

新型コロナウイルス感染症防止対策の充実等を図るため，黎明館，文化センター，みやまコンセール及び霧島アートの森における入館料・使用料等のQRコードや電子マネー，クレジットカードによる決済を導入する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

各施設のキャッシュレス化に係るPOSレジの購入等を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

キャッシュレス決済の導入により，県有の文化施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の充実等につながった。

(5) 宿泊施設感染防止対策支援事業（PR観光課）

〈1〉 施策の目的

県内の宿泊施設事業者を対象に感染防止対策を徹底するために必要な物品等の購入や施設の改修等の支援を行った。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 宿泊施設感染防止対策支援事業

(ア) 小規模支援事業（物品購入費等）

補助率 10/10

限度額 40万円以内

対象費用 消毒液，マスク，アクリル板の購入 など

受付期間 令和2年8月24日～11月30日

実績 支給済件数：661件

支給済額：222,982千円

(イ) 大規模支援事業（施設等改修費用）

補助率 4/5

限度額 500万円以内

対象費用 換気設備の導入，センサー付き蛇口への改修 など

受付期間 令和2年8月24日～令和3年1月15日

実績 支給済件数：186件

支給済額：591,841千円

※ 大規模支援事業については、令和3年6月30日までに購入・実施されたものが対象

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

宿泊施設におけるコロナウイルス感染防止対策が徹底され、安心安全の確保や収束後の事業回復を見据えた取組の強化につながった。

(6) 魅力ある観光地づくり事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

職員と建設工事等受注者との接触機会を縮減するため、非接触型の施工管理に必要なタブレット端末を整備する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

非接触型の施工管理に必要なタブレット端末を購入した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

非接触型の施工管理の実施により職員と建設工事等受注者との接触機会が縮減された。

(7) 観光施設管理事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症対策のため、自然公園等の観光施設に整備しているトイレを和式から洋式に改修する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

10施設に設置されていた和式トイレ28基を洋式トイレに改修した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

観光施設のトイレの洋式化により、コロナウイルス感染防止対策の強化が図られた。

(8) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業（スポーツ振興課）

<1> 施策の目的

職員と利用者との接触を避け、安全に計測できるAI体温検知カメラ及びトレーニング室における利用者同士の感染リスクを避けるための飛沫感染予防対策パーテーションを購入し、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

AI体温検知カメラ及び飛沫感染予防パーテーションの購入

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

AI体温検知カメラについては、受付前に設置し、職員と利用者とは接触せずに体温をチェックすることができ、安全な管理体制を確保できている。

また、飛沫感染予防対策パーテーションについては、トレーニング室のトレーニング機器の間に設置することで、トレーニング中において、飛沫防止に有効であり、安心安全な利用に効果的である。

## (2) 雇用の維持と事業の継続

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	37,074	37,074	—	—	8,575	8,575	—	—
内 訳								
新たな日常での文化芸術活動支援事業(再掲)	37,074	37,074	—	—	8,575	8,575	—	—
観 光 費	198,590	198,590	—	—	136,990	136,990	—	—
内 訳								
地域公共交通維持特別対策事業(貸切バス事業者支援事業)	186,000	186,000	—	—	124,400	124,400	—	—
県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業	10,000	10,000	—	—	10,000	10,000	—	—
内 訳								
「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業	2,590	2,590	—	—	2,590	2,590	—	—
計	235,664	235,664	—	—	145,565	145,565	—	—

新たな日常での文化芸術活動支援事業

翌年度への繰越額 25,179千円(再掲)

地域公共交通維持特別対策事業(貸切バス事業者支援事業)

翌年度への繰越額 61,600千円

### (1) 新たな日常での文化芸術活動支援事業(文化振興課)

2(1)①(2)において前述

### (2) 地域公共交通維持特別対策事業(貸切バス事業者支援事業)(PR観光課)

#### <1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな影響を受けている貸切バス事業者の運行の再開・継続を後押しし、観光需要の本格的な回復期に備えてもらうため、車両点検や感染防止対策等に要する経費の一部を支援する。

#### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

支援実績 51事業者 622台 124,400,000円

#### <3> 施策の実施による成果(アウトカム)

コロナ禍で旅行者が落ち込む貸切バス事業者の運行の再開・継続に対する取組を支援することができた。

### (3) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業(スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

#### <1> 施策の目的

鹿児島ユナイテッドFCが実施する新型コロナウイルス感染防止に必要な経費等の支援を通じ、円滑かつ安心安全に試合を観戦できる環境を確保するほか、同感染症の影響でスポーツに触れる機会が減少している小中学生の親子等を「サンクス!ファミリー&スポーツデー」としてホーム戦に招待し、スポーツの振興に取り組む。

#### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 鹿児島ユナイテッドFCに対する補助金の支出(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等に係る支援)

イ 鹿児島ユナイテッドFCに対する委託料の支出(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う観客減に係る集客支援)

#### <3> 施策の実施による成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、国のイベント開催制限等に伴い、試合会場への入場制限などJリーグのガイドラインに基づく対策を実施しながら、円滑かつ安全に試合が行われた。

### (4) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業(スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

#### <1> 施策の目的

鹿児島レブナイズが実施する新型コロナウイルス感染防止に必要な経費等の支援を通じ、円滑かつ安心安全に試合

を観戦できる環境を確保するほか、同感染症の影響でスポーツに触れる機会が減少している小中学生の親子等を「サ  
ンクス！ファミリー&スポーツデー」としてホーム戦に招待し、スポーツの振興に取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 鹿児島レブナイズに対する補助金の支出（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等に係る支援）

イ 鹿児島レブナイズに対する委託料の支出（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う観客減に係る集客支援）

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、国のイベント開催制限等に伴い、試合数の減少、試合会場への入場制限  
などBリーグのガイドラインに基づく対策を実施しながら、円滑かつ安全に試合が行われた。

### (3) 子育て世帯などへの支援

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
企画総務費	10,330	10,330	—	—	10,262	10,262	—	—
内「明治日本の産業革命遺産」学習支援強化事業	10,330	10,330	—	—	10,262	10,262	—	—
計	10,330	10,330	—	—	10,262	10,262	—	—

(1) 「明治日本の産業革命遺産」学習支援強化事業（文化振興課 世界文化遺産室）

<1> 施策の目的

副読本と併せて授業で使用する動画及びワークシートを作成・公開し教育現場で活用することで郷土に対する誇りと愛情の育成を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

内容	配布先
動画5本(1章～4章,ダイジェスト版) 授業用ワークシート	県内の全小学校, 市町村教育委員会等

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

子供達がより一層の理解を深め、ふるさとに誇りを持てるよう副読本「かごしまタイムトラベル」等を活用した学びの機会の創出を行い郷土教育の強化が図られた。

(4) 経済活動の回復

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
企画総務費	5,368	5,368	—	—	5,368	5,368	—	—
内「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業	5,368	5,368	—	—	5,368	5,368	—	—
文化推進費	54,675	54,675	—	—	26,155	26,155	—	—
内新たな日常での文化芸術活動支援事業(再掲)	37,074	37,074	—	—	8,575	8,575	—	—
内鶴丸城跡VR体感事業	13,915	13,915	—	—	13,904	13,904	—	—
内「黎明館」「霧島アートの森」魅力発信事業	3,686	3,686	—	—	3,676	3,676	—	—
観光光費	21,798,918	21,798,918	—	—	3,922,237	3,922,237	—	—
内観光かごしま回復事業	661,227	661,227	—	—	288,751	288,751	—	—
内観光かごしま再生事業	877,308	877,308	—	—	752,780	752,780	—	—
内宿泊施設受入環境整備支援事業	117,500	117,500	—	—	112,052	112,052	—	—
内県内観光促進緊急対策事業	5,550,771	5,550,771	—	—	1,788,889	1,788,889	—	—
内宿泊施設感染防止対策等支援事業	1,270,000	1,270,000	—	—	869,453	869,453	—	—
内宿泊施設の感染防止対策認証制度事業	100,000	100,000	—	—	96,158	96,158	—	—
内宿泊施設の認証取得促進事業	183,206	183,206	—	—	—	—	—	—
内観光事業者等受入環境整備支援事業	377,113	377,113	—	—	—	—	—	—
内鹿児島GOTトラベル推進事業	12,635,557	12,635,557	—	—	—	—	—	—
内スポーツ合宿inかごしま促進事業	23,375	23,375	—	—	11,543	11,543	—	—
内JAPANアス撮れ! トップアスリート誘致事業	2,861	2,861	—	—	2,611	2,611	—	—
計	21,858,961	21,858,961	—	—	3,953,760	3,953,760	—	—

新たな日常での文化芸術活動支援事業 翌年度への繰越額 25,179千円 (再掲)  
 県内観光促進緊急対策事業 翌年度への繰越額 3,761,879千円  
 宿泊施設の認証取得促進事業 翌年度への繰越額 183,206千円  
 観光事業者等受入環境整備支援事業 翌年度への繰越額 377,113千円  
 鹿児島GOTトラベル推進事業 翌年度への繰越額 12,635,557千円

(1) 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業 (文化振興課 世界文化遺産室)

<1> 施策の目的

「かごしま産業遺産の道」HPのモデルコースを活用したPR動画の作成・配信, モデルコースの更新を行うことで, 来訪者の周遊促進, 県内構成資産及び関連資産への理解の深化, 遺産の次世代への継承を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

内容	媒体	配信
「かごしま産業遺産の道」HPのモデルコースの更新 「かごしま産業遺産の道」HPのモデルコースを活用したPR動画の制作・配信	鹿児島県観光サイト 「かごしまの旅」にて公開	令和4年2月28日～

- 〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)  
各地域での県民の郷土に対する誇りの醸成や県内での周遊促進が図られた。
- (2) 新たな日常での文化芸術活動支援事業(文化振興課)  
2 (1) ① (2) において前述
- (3) 鶴丸城跡VR体感事業(文化振興課)  
〈1〉 施策の目的  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により減少した歴史・美術センター黎明館の入館者の増加を図るため、「鶴丸城跡」の当時の様子をCGやVR技術等で再現するVRアプリを制作、情報発信する。  
〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)  
鹿児島城VRアプリを制作し、令和4年3月18日に配信を開始した。  
〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により落ち込んだ黎明館の入館者増を喚起するコンテンツを制作・発信することができた。
- (4) 「黎明館」「霧島アートの森」魅力発信事業(文化振興課)  
〈1〉 施策の目的  
新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や、訪問が困難な方へ鑑賞機会を提供するため、WEB上で展示物の一部を閲覧できる映像コンテンツ(Googleストリートビュー)を作成する。  
〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)  
令和3年12月27日～県ホームページで公開した。  
〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)  
県民等に両施設の鑑賞機会を提供することができた。
- (5) 観光かごしま回復事業(PR観光課)  
〈1〉 施策の目的  
宿泊施設、観光施設、バス事業者及び旅行業者が自ら行う新規性・継続性のある取組を支援する。  
〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)  
ア 誘客取組等支援事業  
・補助金交付実績額：30,704千円(92件)  
イ 熊本県相互誘客事業  
熊本県を発地とする鹿児島着のJR新幹線を利用した旅行商品に対して割引助成を行った。  
・割引額：定額5,000円  
・補助件数：18件  
〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)  
コロナ禍で旅行客が落ち込む観光関係事業者の下支えをし、宿泊施設、観光施設、バス事業者及び旅行業者が自ら行う新規性・継続性のある取組を支援することができた。
- (6) 観光かごしま再生事業(PR観光課)  
〈1〉 施策の目的  
観光客の減少に苦しむ観光業の早期再生を図るため、宿泊や旅行に使えるクーポン券の発行やタクシー及びレンタカー利用料金の助成などの需要喚起策を実施する。  
〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)  
ア かごしま旅クーポン事業

県内外の旅行会社や県内宿泊施設で利用できるプレミアム付きクーポン券を販売した。

(ア) 県民向けプレミアム付きクーポン(紙)

- ・販売数：30,000セット（60,000枚）
- ・利用実績：54,025枚
- ・助成実績：135,062,500円

(イ) 県内外向けプレミアム付きクーポン(電子)

- ・販売数：170,000セット（340,000枚）
- ・利用実績：303,679枚
- ・助成実績：759,197,500円

イ らくらく鹿児島巡り事業

県外観光客に対し、タクシー・レンタカー利用料金の割引助成をした。

区 分	助成件数	助成金額
タクシー	2,901件	13,434,000円
レンタカー	25,897件	117,092,000円

ウ 体験たっぷりプレゼント事業

県外観光客が利用する鹿児島県の体験商品について、割引助成を行う。

利用実績 33,196,050円（8,154人）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

コロナ禍により旅行需要が急激に減少する中、旅行費用に対する割引助成を行うことにより一定の観光需要を創出することができた。

令和3年度延べ宿泊者数 5,218,130人泊（前年度比116%）

(7) 宿泊施設受入環境整備支援事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復に向け、観光客の利用基盤となる宿泊施設のバリアフリー化整備を助成する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 対象費用

- (ア) 客室における改修等 客室出入口、トイレ、浴室等
- (イ) 共用部における改修等 敷地内の通路、駐車場、建築物の出入口等

イ 補助率

- (ア) 国や市町村の補助金等を活用していない場合 2/3以内(上限額650万円)
- (イ) 国や市町村の補助金等を活用している場合 1/2以内(上限額250万円)

ウ 受付期間

令和3年6月1日～12月27日

エ 実績

- (ア) 助成件数 27件
- (イ) 助成金額 108,972千円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

コロナ収束後の観光需要回復に向けた宿泊施設の受入環境整備(バリアフリー化)が図られた。

(8) 県内観光促進緊急対策事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

国の補助金を活用し、県内での観光を促進するため、県民及び隣県(熊本県・宮崎県・沖縄県)向けに旅行商品の割引を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 旅行商品割引助成

宿泊（1人泊当たり）又は、日帰り（1人1回当たり）の旅行代金の50%（5,000円上限）割引した。

・利用実績：1,202,539,530円

イ 今こそ鹿児島クーポン

アの割引対象旅行商品のうち、旅行代金が4,000円以上のものに2,000円分の商品クーポンを付与した。

・利用実績：400,592,000円

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

コロナ禍により旅行需要が急激に減少する中、旅行費用に対する割引助成を行うことにより一定の観光需要を創出することができた。

令和3年度延べ宿泊者数 5,218,130人泊（前年度比116%）

(9) 宿泊施設感染防止対策等支援事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立を図るため、国の地域観光事業支援事業等を活用し、県内の宿泊事業者が行う感染拡大防止策の強化等に係る費用の一部を支援する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

補助率 3/4以内

限度額 部屋数9室以下の宿泊施設：75万円

部屋数10～29室の宿泊施設：375万円

部屋数30室以上の宿泊施設：750万円

ア 感染防止対策

(ア) 小規模支援（物品購入費等）

対象費用 サーモグラフィ、アクリル板等

受付期間 令和3年8月2日～12月28日

実績 補助件数：290件

補助額：134,738,000円

(イ) 大規模支援（施設等改修費等）

対象費用 感染防止のための施設の改修等

イ ウィズコロナ・ポストコロナにおける新たな需要に対応するための取組に要する経費（前向き投資支援）

対象費用 ワークーションに対応した通信環境の整備等

受付期間 令和3年8月2日～10月15日

実績 補助件数：264件

補助額：679,864,000円

（※上記はアの(イ)及びイに係るもの）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

宿泊施設における新型コロナウイルス感染防止対策が徹底され、安心安全の確保や収束後の事業回復を見据えた取組の強化につながった。

(10) 宿泊施設の感染防止対策認証制度事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

宿泊施設の感染防止対策の強化により、利用者への安心と信頼を確保し、県民や観光客等の利用促進を通じた経済活動の回復を図るため、県内宿泊施設を対象とする感染防止対策認証制度を創設する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

・申請数：542施設

・ 認証数：533施設

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

感染防止対策の講じられた宿泊施設を認証し公表することにより、宿泊施設の感染防止対策への意識を向上させることができ、また県民や観光客等の安心を確保し、認証済宿泊施設の利用を促進することができた。

(11) 宿泊施設の認証取得促進事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

県が適切な新型コロナウイルス感染症対策の講じられた宿泊施設を認証することにより、各施設の感染対策を促進するとともに、認証の速やかな取得を促す。また、認証の取得又は維持にかかる感染防止対策の費用の一部を支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和4年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(12) 観光事業者等受入環境整備支援事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復に向け、宿泊施設のバリアフリー化及び観光事業者の新たな需要に対応する取組を支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和4年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(13) 鹿児島GOTトラベル推進事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

県内での旅行商品の割引やタクシー・レンタカー利用料金の助成などの需要喚起策を講じ、本県観光関連産業の早期回復を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和4年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(14) スポーツ合宿inかごしま促進事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内でのスポーツ合宿が減少していることから、県内スポーツ団体による県内合宿の宿泊費を助成し、県内でのスポーツ合宿を促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 補助対象団体

本県でスポーツ合宿を行う県内外のスポーツ団体

イ 補助額

(ア) 1人1泊当たりの補助額 1,000円（定額）

(イ) 1団体当たりの補助限度額 10万円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ア 実績額等

(ア) 団体数 196団体

(イ) 延べ宿泊数 8,224泊

(ウ) 補助金確定額 8,224,000円

イ 事業の効果

補助を受けた団体へのアンケートによると、「本事業の補助金が活用できたので、本県で合宿を実施した。」「生徒・保護者の経済的負担が軽減できた。」「合宿が行いやすい。」などの意見が多数あったことから、当該事業が県内での合宿の掘り起こしに寄与したと考えている。

(15) J A P A Nアス撮れ！トップアスリート誘致事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内におけるスポーツ合宿が減少していることから、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅でスポーツ合宿を行うトップアスリートの合宿経費の補助や、トップアスリートによるSNSの発信などを通じて、県内でのスポーツ合宿実施を促進する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅でスポーツ合宿を行うトップアスリートに対して、合宿経費の補助を行った。

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ合宿をキャンセルするアスリートもあったが、本事業により、25人がスポーツ合宿を行い、県内でのスポーツ合宿実施を促進した。

